

JCL-33A モニタソフト

SWM-JCL01M

取扱説明書

目 次

本書について	2
モニタソフト使用上の注意	2
CD-ROM について	2
1. モニタソフトご使用の準備	3
1.1 動作環境	3
1.2 インストール手順	7
1.2.1 Windows 2000/XP の場合	8
1.2.2 Windows 98/NT4.0/Me の場合	12
1.3 アンインストール手順	14
2. モニタソフトの起動と終了	17
2.1 パソコン - JCL-33A 間の配線	17
2.2 モニタソフトの起動	20
2.3 モニタソフトの画面および操作	22
2.3.1 画面の切り替え	22
(1) メイン画面	22
(2) 1 チャンネル画面	24
(3) 設定画面	27
(4) チャート画面	32
(5) チャート描写条件設定画面	33
(6) ロギング画面	34
(7) 全チャンネル一括設定画面	36
2.3.2 メニューバーの操作	39
(1) プリンタ選択	39
(2) 印刷	39
(3) モニタソフトの終了	39
(4) チャンネル名登録	40
(5) タイムアウト時間選択	41
(6) チャンネル単位 設定値のセーブとロード	42
(7) 全チャンネル一括 設定値のセーブとロード	44
(8) アラームヒストリ画面	46
(9) ヘルプ画面	46
(10) バージョン情報画面	47

本書について

- ・ 本書は、JCL-33Aモニタソフト "SWM-JCL01M" (以下、モニタソフト)のインストール方法について説明したものです。
- ・ 本書の説明は、Windows Meで行っていますが、他のOS(Windows98/NT4.0/2000/XP)も同様の操作で行えます。
- ・ 本書では "XXページを参照してください" を(⇒P.XX)と表現しております。

モニタソフト使用上の注意

ソフトウェア使用許諾契約書

1. 使用許諾

- (1)お客様は、本契約に同意していただいた場合のみモニタソフトを使用することができます。
- (2)お客様は、モニタソフトをリバースエンジニアリング、逆コンパイルもしくは逆アセンブルをしてはならないものとします。

2. 著作権

モニタソフトに関する著作権は、神港テクノス株式会社(以下、弊社と表記します)が保有しています。

3. 譲渡の規制

お客様は、モニタソフトを譲渡、貸与またはリースすることはできません。

4. 複製

お客様は、モニタソフトのコピーを配布することはできません。

5. 免責

- (1)弊社は、モニタソフトを使用した結果に関してもいかなる保証も行いません。
モニタソフトに関して発生する問題は、お客様の責任および費用負担によって処理されるものとします。
- (2)弊社はいかなる場合であっても、お客様がモニタソフトを使用することにより生じ商業的利益の逸失、商業の支障その他いかなる損害について、たとえかかる損害が生じる可能性があることにつき通知を受けていた場合であっても一切の責任を負わないものとします。

CD-ROM について

- ・ CD-ROMの場合、以下のファイルが収められています。

Install_E.txt / Install_J.txt

モニタソフトのインストール方法について重要な情報が記載されているファイルです。

Readme_E.txt / Readme_J.txt

モニタソフトの使用許諾や著作権などについて重要な情報が記載されているファイルです。

SWM-JCL01M_Vxxx.msi [Windows2000_XPフォルダ内]

モニタソフトのインストール実行ファイルです。

Windows 2000/XP の場合使用してください。

setup.exe [Windows98_Meフォルダ内]

モニタソフトのインストール実行ファイルです。

Windows 98/NT4.0/Me の場合または上記ファイルでインストールできない場合使用してください。

・ Windows 98/NT4.0/Me/2000/XPは、米国マイクロソフト社の登録商標です。

1. モニタソフトご使用の準備

1.1 動作環境

モニタソフトは、下記の環境で動作します。

●パソコン

Windows 98/Me/NT4.0/2000/XPが動作するパソコン

CPU Pentium4 800MHz 以上

メインメモリ Windows 98/Me/NT4.0 : 128MByte 以上

Windows 2000 : 256MByte 以上

Windows XP : 512MByte 以上

ハードディスク容量 10MByte 以上

RS-232Cインタフェース装備(COM1～COM8)

CD-ROMドライブ装備

●OS

Windows XP Home Edition (日本語版/英語版)

Windows XP Professional (日本語版/英語版)

Windows 2000 Professional (日本語版/英語版)

Windows Me (日本語版/英語版)

Windows NT4.0 (日本語版/英語版)

Windows 98 (日本語版/英語版)

●ディスプレイ

解像度 1024×768ドット以上

フォントは "小さいフォント" (Windows XPの場合, "通常のサイズ")でご使用ください。

フォントの設定方法を以下に示します(⇒P.3～6)。

・フォントの設定方法

"大きいフォント" から "小さいフォント" に変更する設定方法を、下記の手順で行います。

(1) 起動しているアプリケーションを全て終了してください。

スタートメニューから, [設定(S)] - [コントロールパネル(C)]を選択しクリックしてください。

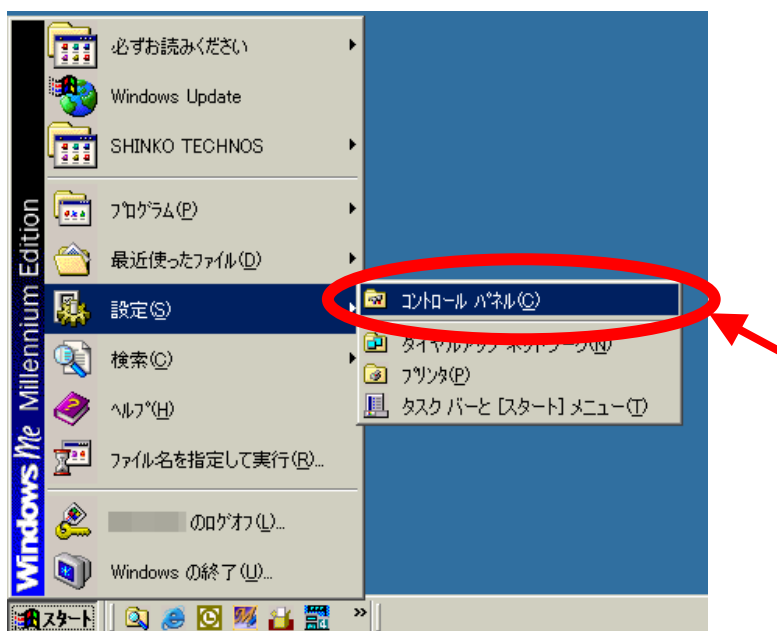


図1.1-1

(2) [画面]アイコンをダブルクリックしてください。

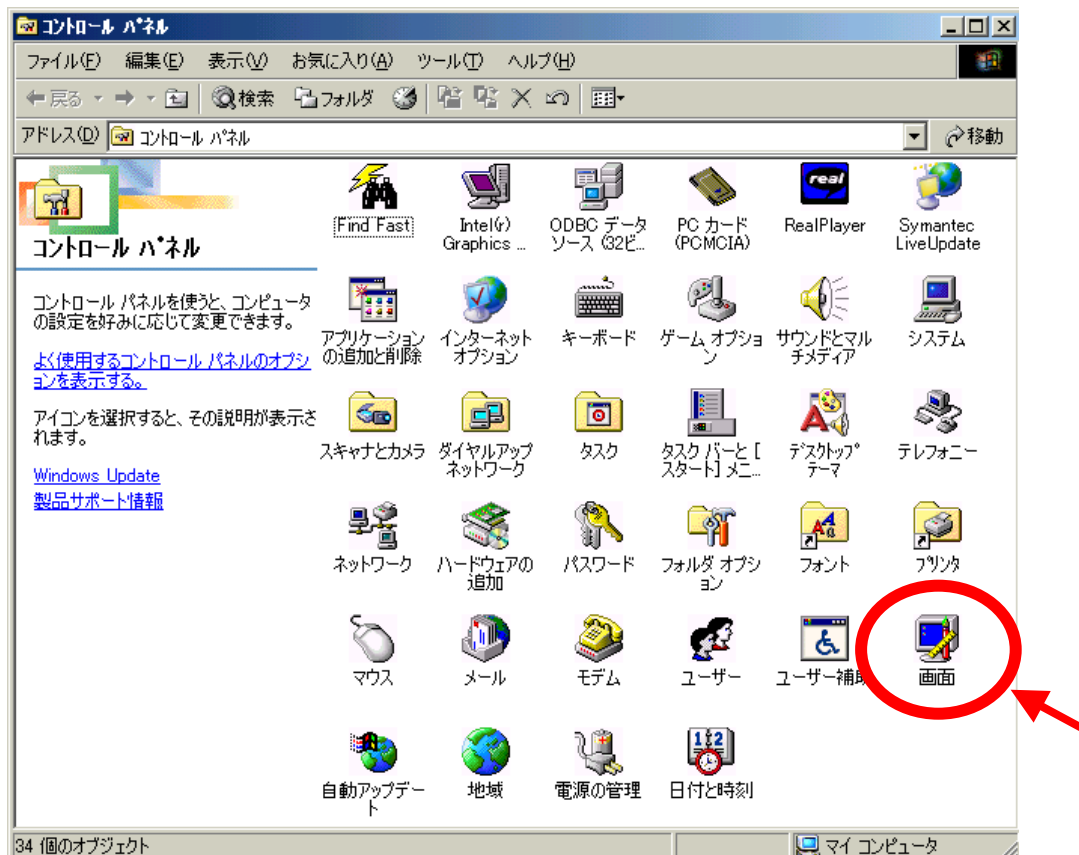


図1.1-2

(3) [設定]タブをクリックしてください。

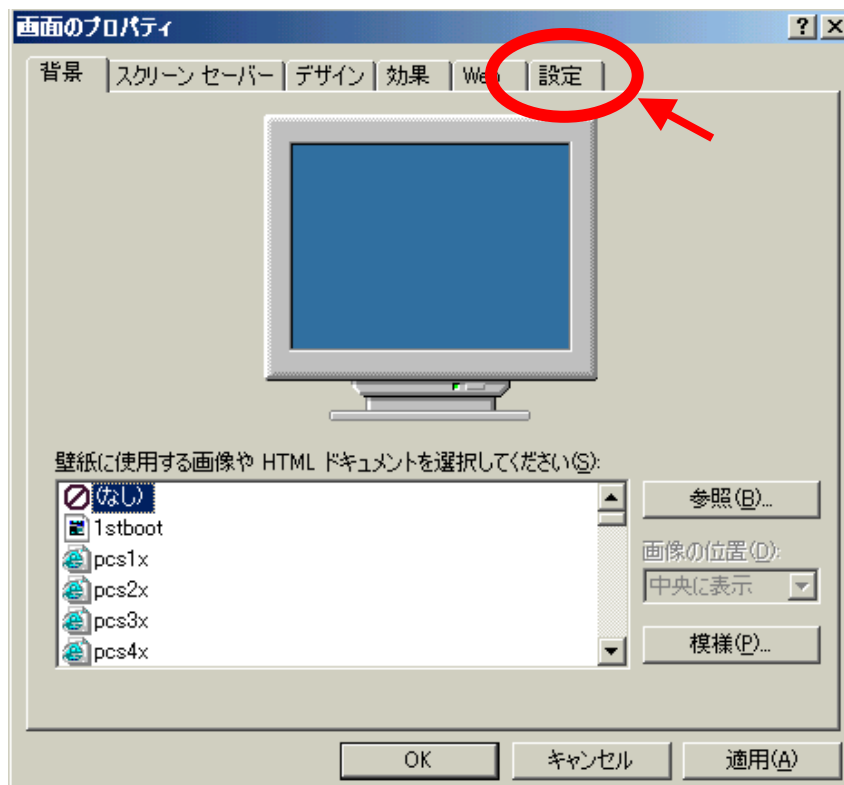


図1.1-3

(4) [詳細(D)] ボタンをクリックしてください。

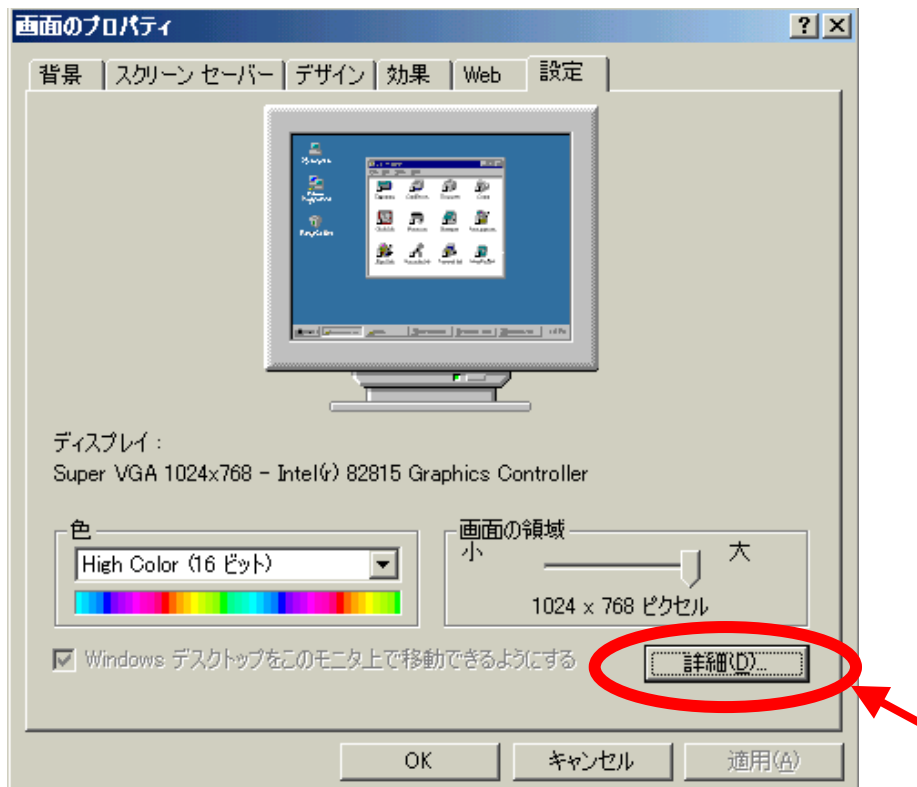


図1.1-4

(5) ディスプレイのフォントサイズ(E)を "小さいフォント" にし、[OK] ボタンをクリックしてください。

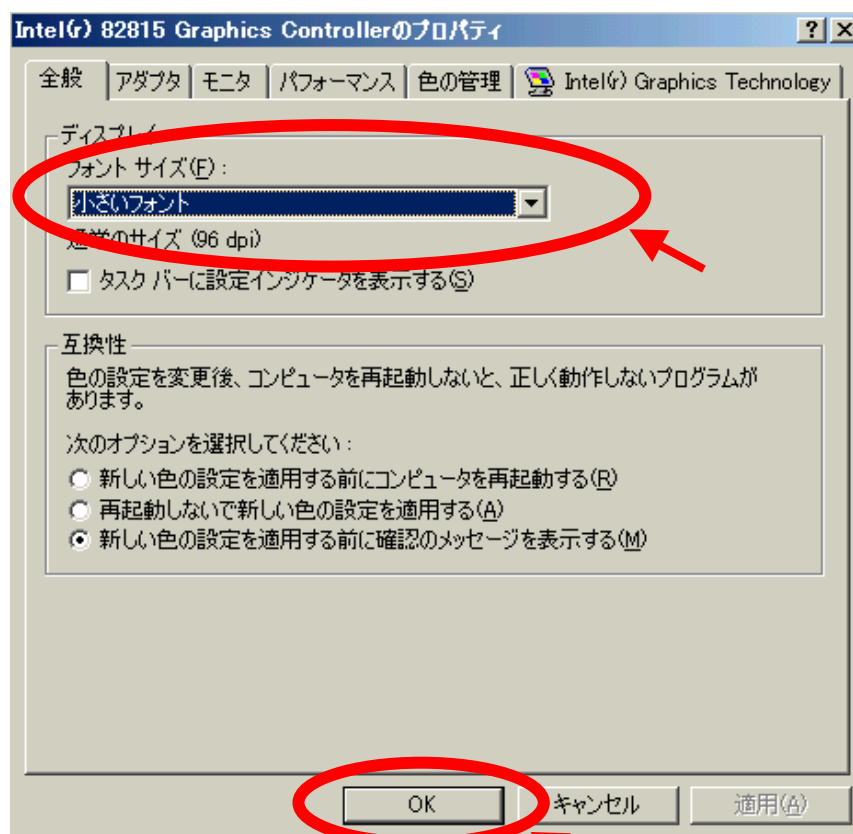


図1.1-5

(6) [閉じる] ボタンをクリックしてください。

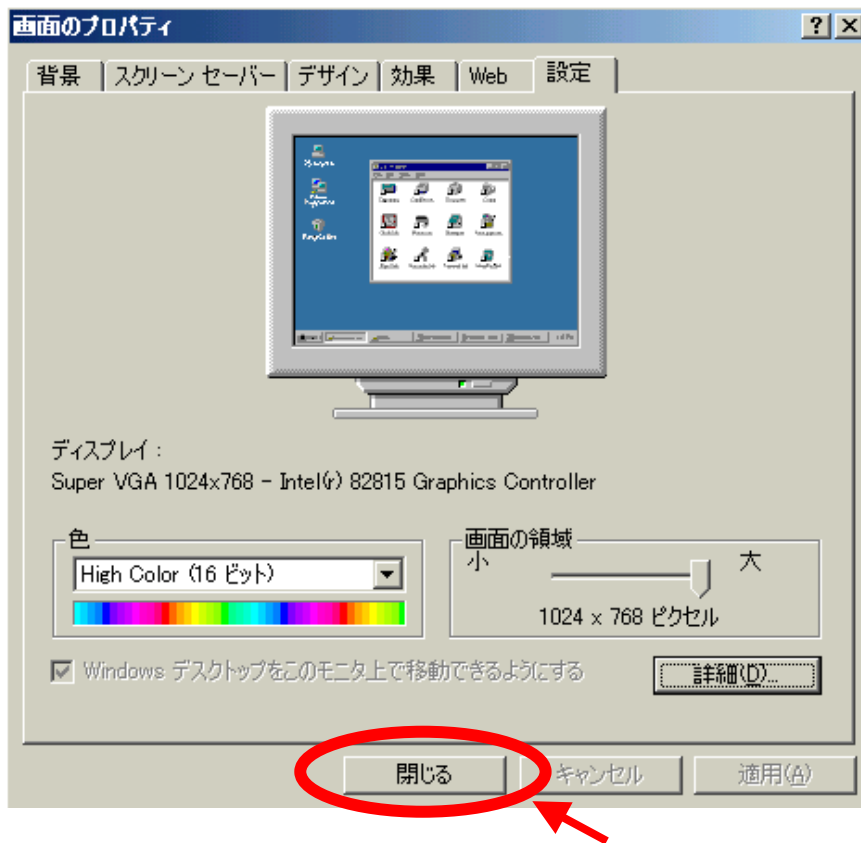


図1.1-6

(7) [はい(Y)] ボタンをクリックしてください。

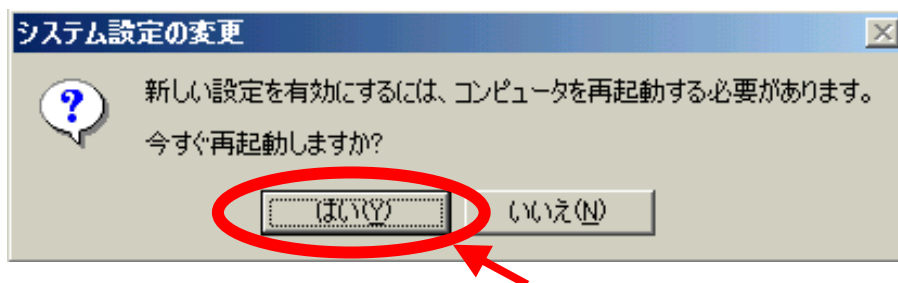


図1.1-7

(8) システムの再起動後、フォントが "小さいフォント" になります。

1.2 インストール手順

インストールを始める前に、他に起動しているアプリケーションを全て終了してください。
フォントを"小さいフォント" (Windows XP の場合, "通常のサイズ")に設定してください。
(⇒P.3～6)

本書は、Dドライブにダウンロード、解凍したことを前提に、セットアップの方法を説明します。
パソコンのドライブ構成は下記の通りです。

お使いの環境に合わせてドライブを指定してください。

Aドライブ: フロッピーディスク

Cドライブ: ハードディスク

Dドライブ: ハードディスク

Eドライブ: CD-ROM

ダウンロードしたフォルダ内には、2種類のインストールファイルが収められています。

- ・ SWM-JCL01M_Vxxx.msi (Windows2000_XPフォルダ内)

モニタソフトのインストール実行ファイルです。

Windows 2000/XP の場合使用してください。

インストール手順(⇒P.8～12)

- ・ setup.exe (Windows98_Meフォルダ内)

モニタソフトのインストール実行ファイルです。

Windows 98/NT4.0/Me の場合または上記ファイルでインストールできない場合使用してください。

インストール手順(⇒P.12～13)

1.2.1 Windows 2000/XP の場合

(1) スタートメニューから、[ファイル名を指定して実行(R)]を選択しクリックしてください。

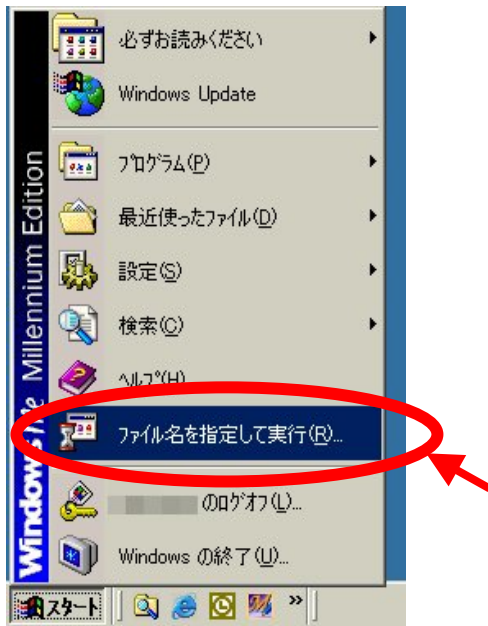


図1.2-1

(2) [参照(B)]ボタンをクリックしてください。

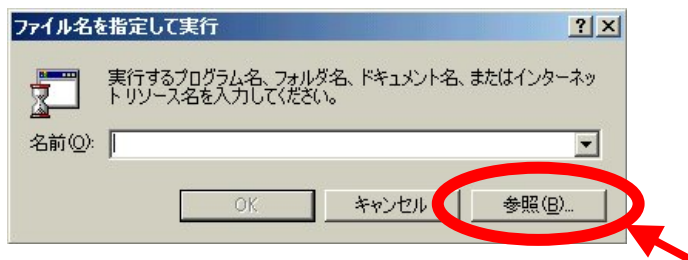


図1.2-2

(3) ファイルの場所(L)ダイアログボックスから "ローカルディスク (D:)" を選択してください。

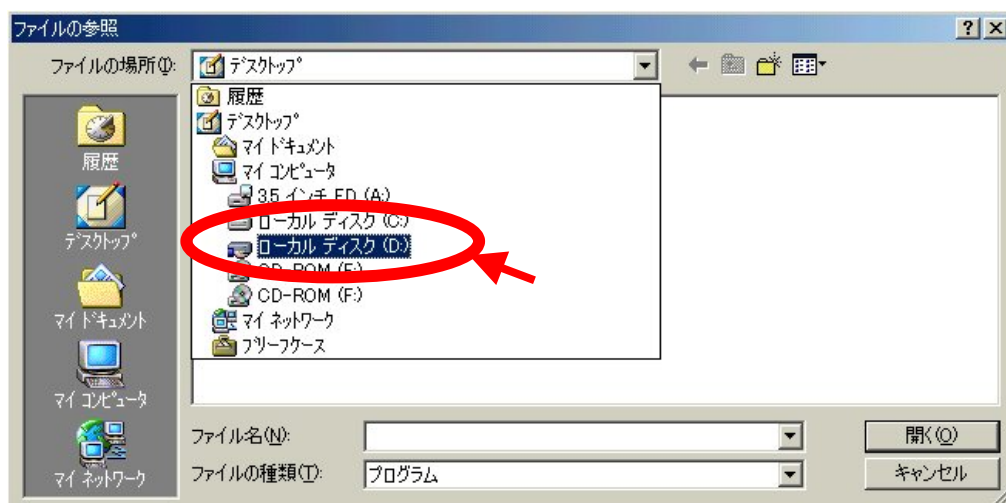


図1.2-3

- (4) SWM-JCL01M_Vxxxフォルダ内, "Windows2000_XP"フォルダを選択してください。
ファイルの種類(T)を"すべてのファイル"に設定してください。
ファイル"SWM-JCL01M_Vxxx.msi"を選択し, [開く(O)]ボタンをクリックしてください。

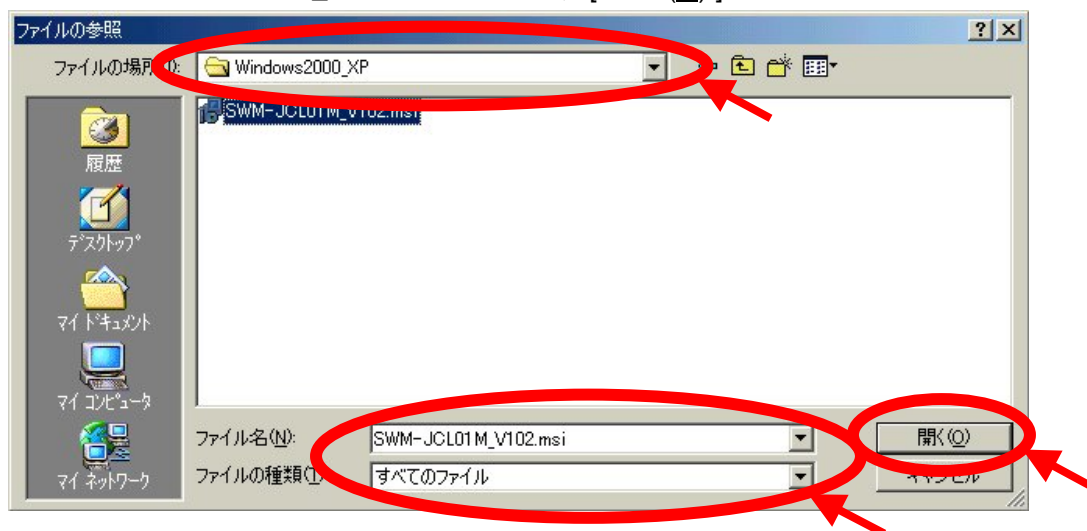


図1.2-4

- (5) [OK]ボタンをクリックしてください。
SWM-JCL01M_Vxxx セットアップウィザードを表示します。

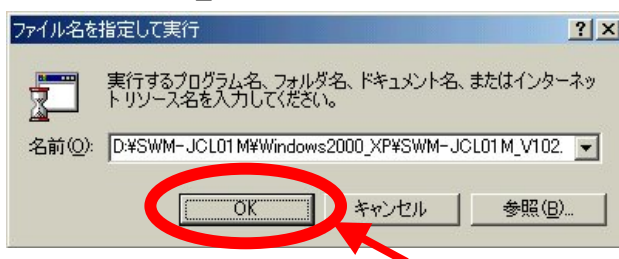


図1.2-5

- (6) [Next]ボタンをクリックしてください。
インストールを中止, 終了したい場合, [Cancel]ボタンをクリックしてください。

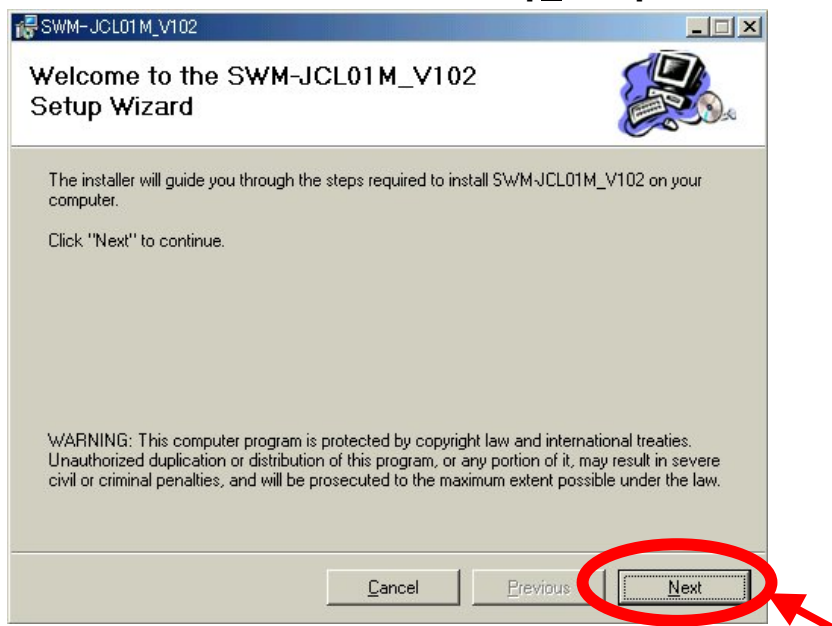


図1.2-6

(7) インストール先のドライブ名とフォルダ (ディレクトリ) 名を確認してください。

最初は"C:\Program Files\SHINKO TECHNOS\SWM-JCL01M_Vxxx\"にインストールするよう指定しています。

上記インストール先でよければ, [Next] ボタンをクリックしてください。

インストール先を変更したい場合, [Browse] ボタンをクリックしてください。

インストールを中止, 終了したい場合, [Cancel] ボタンをクリックしてください。

前画面に戻りたい場合, [Previous] ボタンをクリックしてください。

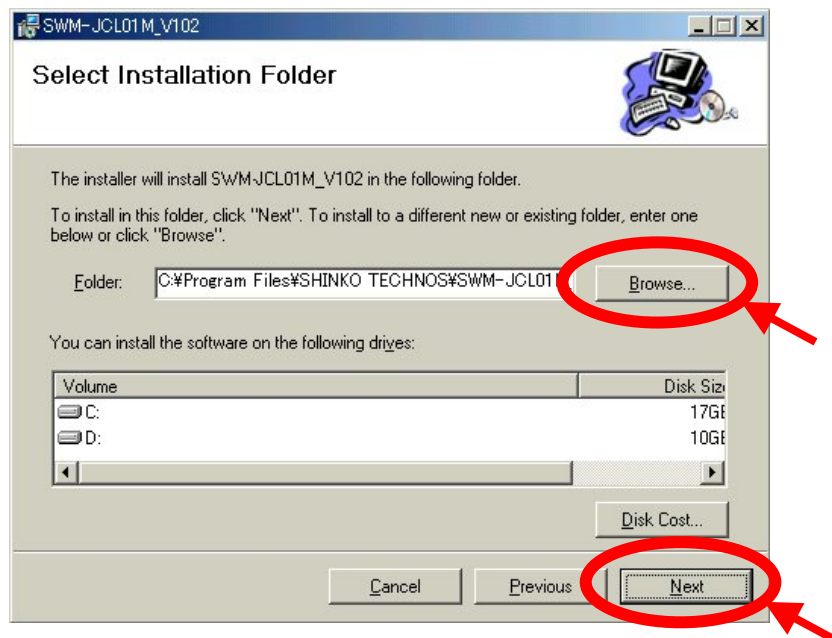


図1.2-7

インストール先の変更画面

ドライブ名とフォルダ(ディレクトリ)名を指定し, [OK] ボタンをクリックしてください。

何の操作もせず, 前画面に戻りたい場合, [Cancel] ボタンをクリックしてください。

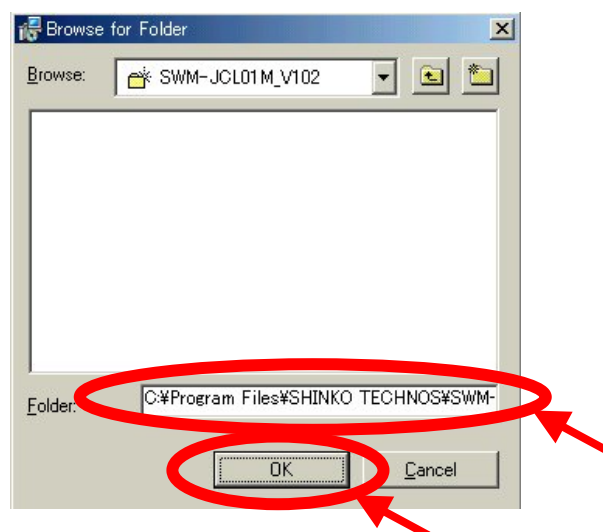


図1.2-8

(8) インストールの確認画面を表示します。

[**N**ext]ボタンをクリックしてください。

インストールを中止する場合、[**C**ancel]ボタンをクリックしてください。

前画面に戻りたい場合、[**P**revious]ボタンをクリックしてください。

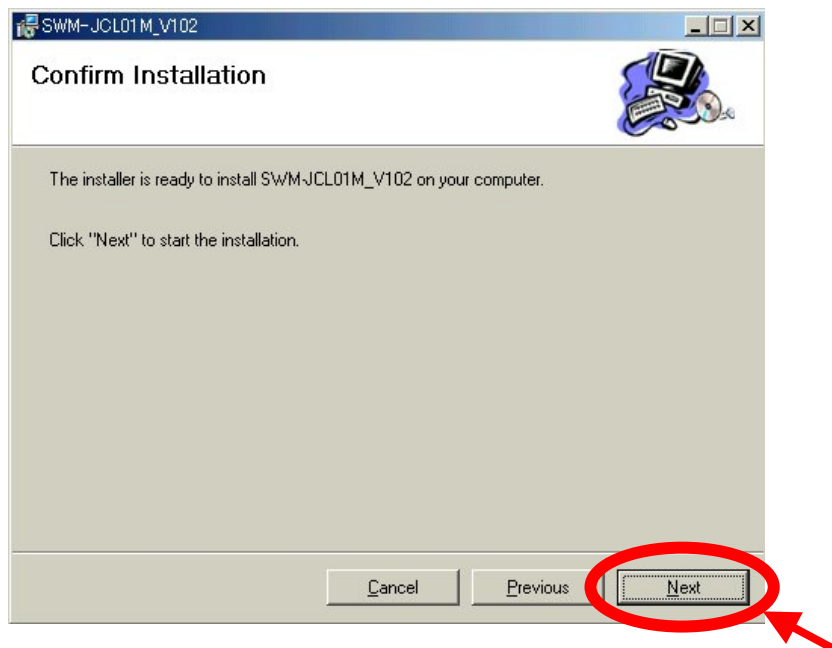


図1.2-9

(9) ファイルをコピーする状況をバーグラフで表示します。

インストールを中止する場合、[**C**ancel]ボタンをクリックしてください。

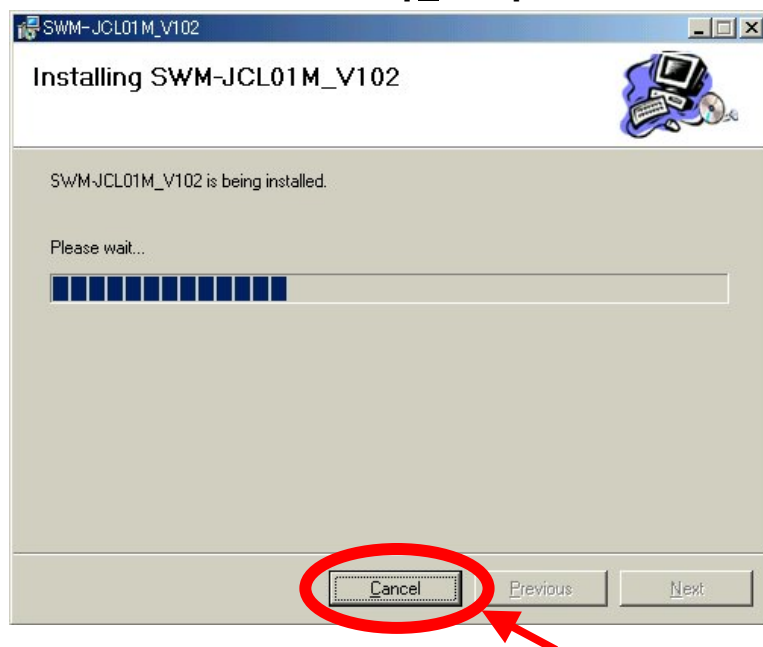


図1.2-10

- (10) インストールが完了すると、以下の画面を表示します。
[Close]ボタンをクリックしてください。

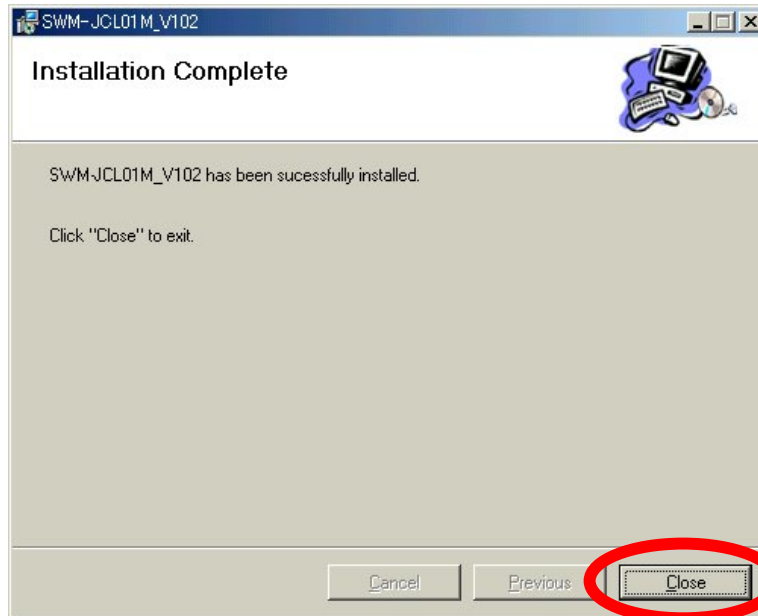


図1.2-11

1.2.2 Windows 98/NT4.0/Me の場合

- (1) スタートメニューから、[ファイル名を指定して実行(R)]を選択しクリックしてください。



図1.2-12

- (2) [参照(B)]ボタンをクリックしてください

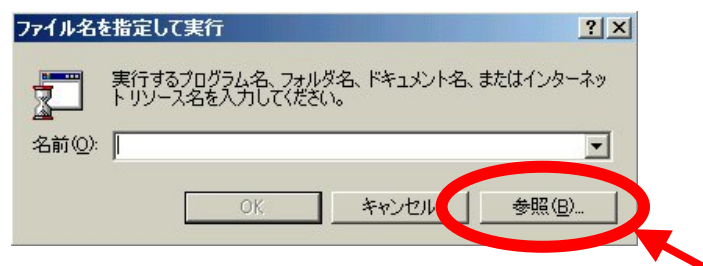


図1.2-13

- (3)ファイルの場所(l)ダイアログボックスから "ローカルディスク (D:)" を選択してください。

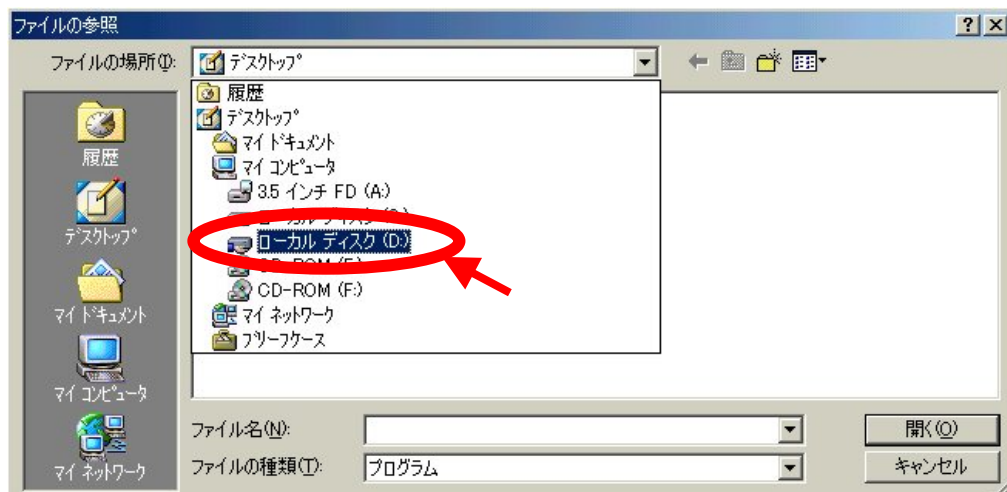


図1.2-14

- (4)SWM-JCL01M_Vxxxフォルダ内, "Windows98_Me" フォルダを選択してください。
セットアップファイル"setup.exe"を選択し, [開く (O)]ボタンをクリックしてください。

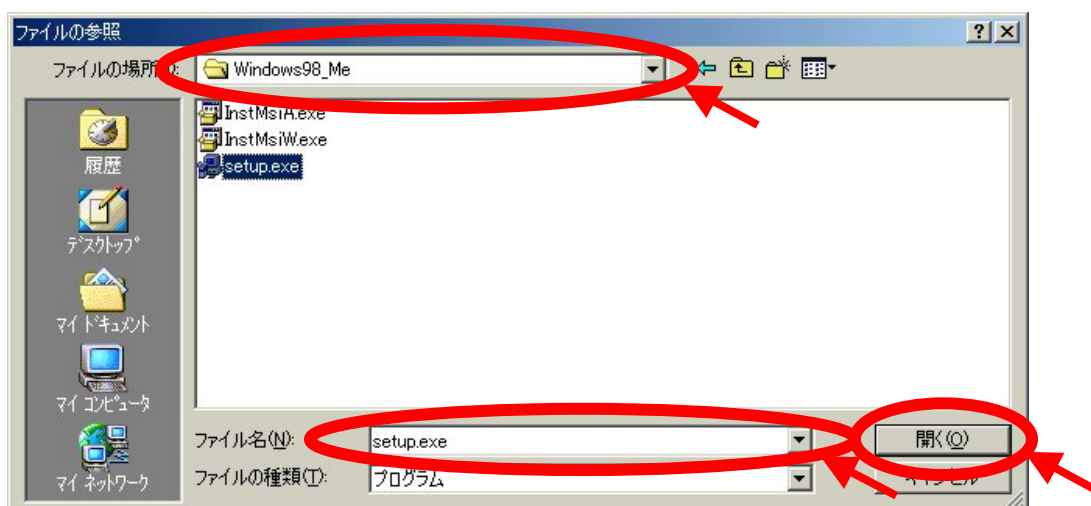


図1.2-15

- (5) [OK]ボタンをクリックしてください。
SWM-JCL01M_Vxxx セットアップウィザードを表示します。



図1.2-16

- (6) 以降のインストール方法は, Windows 2000/XPの場合と同じです。
Windows 2000/XPの場合の(6)からを参照してインストールしてください。(➡P.8~12)

1.3 アンインストール手順

ハードディスクから、モニタソフトの関連ファイルを削除する手順について説明します。

(1) スタートメニューから、[設定(S)]-[コントロールパネル(C)]を選択しクリックしてください。

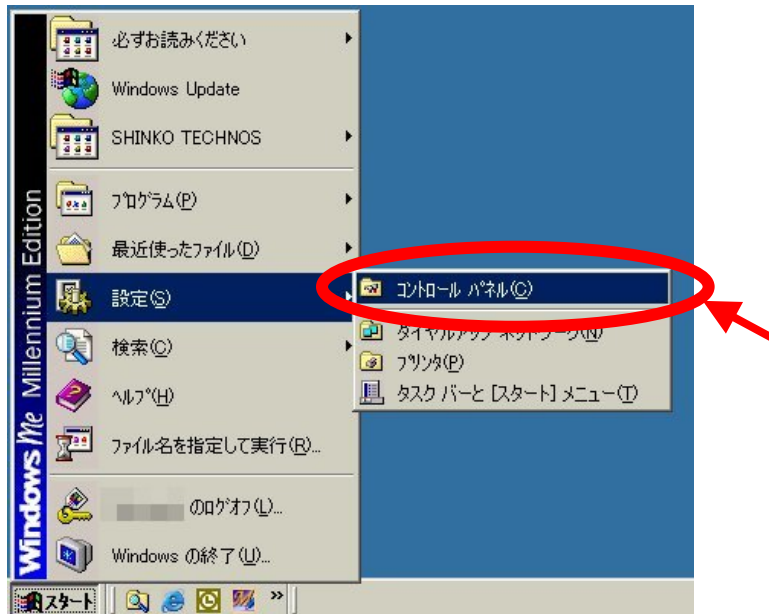


図1.3-1

(2) [アプリケーションの追加と削除]アイコンをダブルクリックしてください。

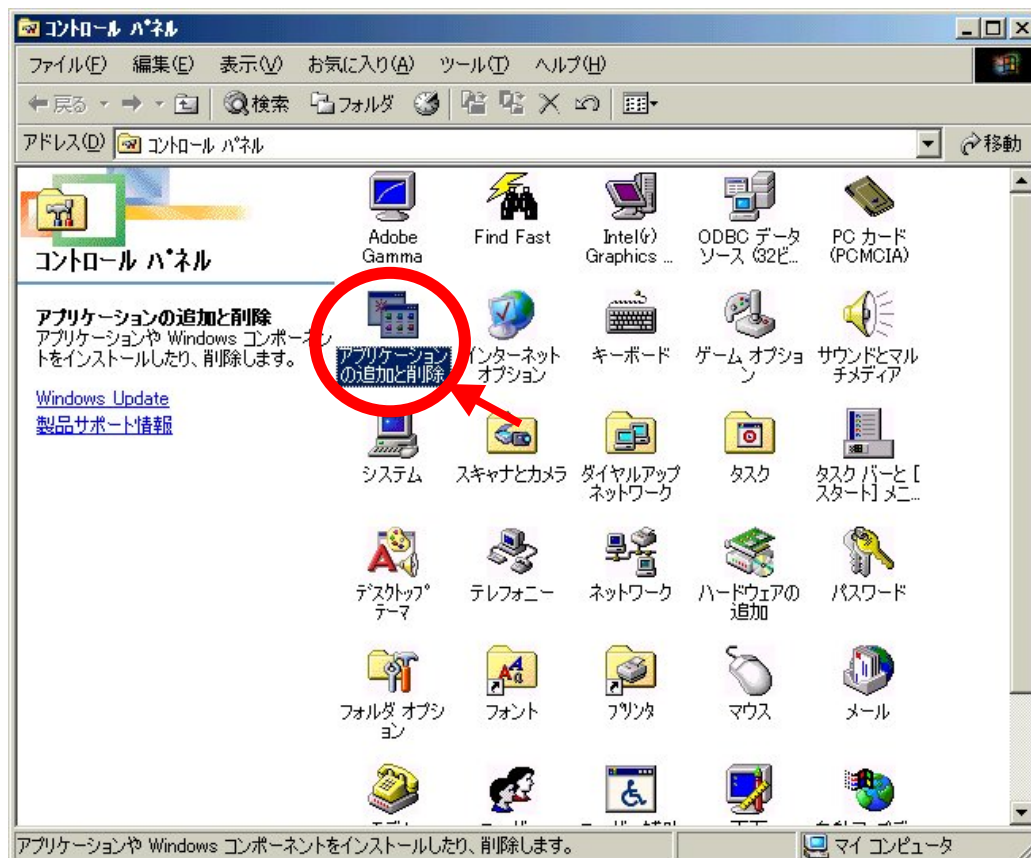


図1.3-2

- (3) アプリケーションのリストで"SWM-JCL01M_Vxxx"をクリックまたはカーソルで選択して[追加と削除(R)]ボタンをクリックしてください。

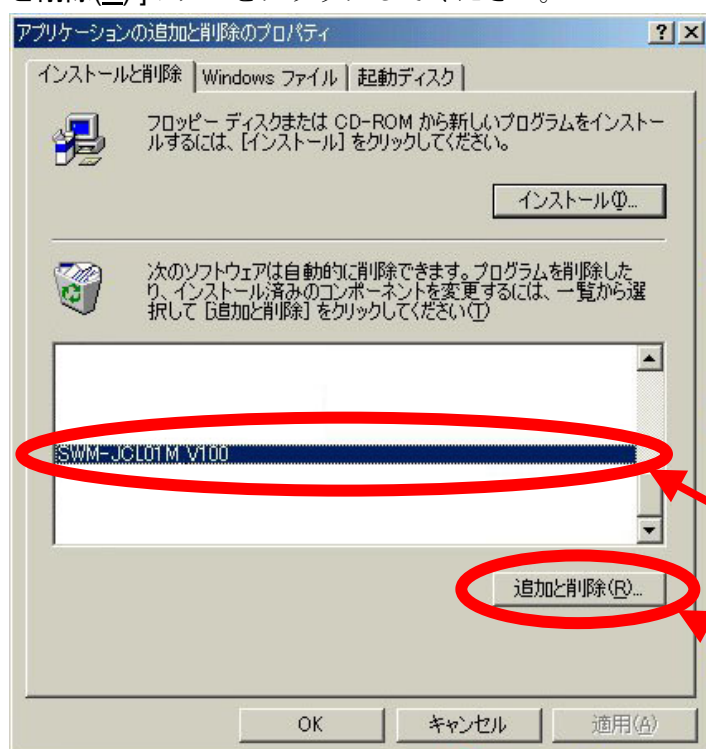


図1.3-3

- (4) 削除の確認ダイアログを表示します。

Windows 2000/XPの場合(図1.3-4)

[Remove SWM-JCL01M_Vxxx]を選択し, [Finish]ボタンをクリックしてください。

Windows 98/NT4.0/Meの場合(図1.3-5)

[はい(Y)]ボタンをクリックしてください。

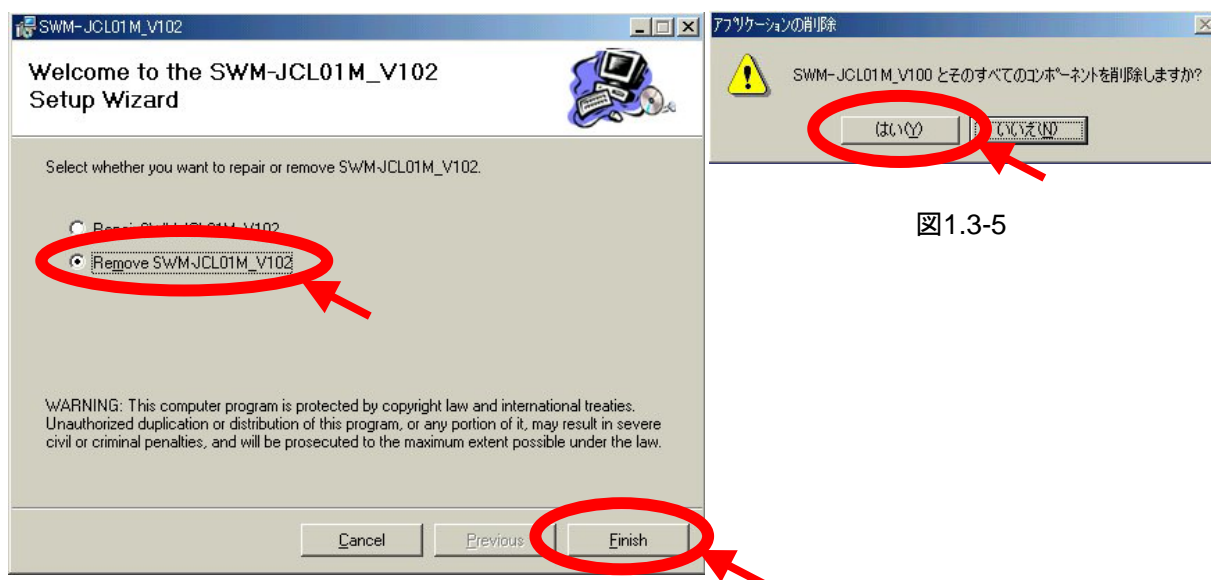


図1.3-5

図1.3-4

(5) アンインストールの状況をバーグラフで表示します。

アンインストールを中止する場合, [Cancel] ボタンをクリックしてください。

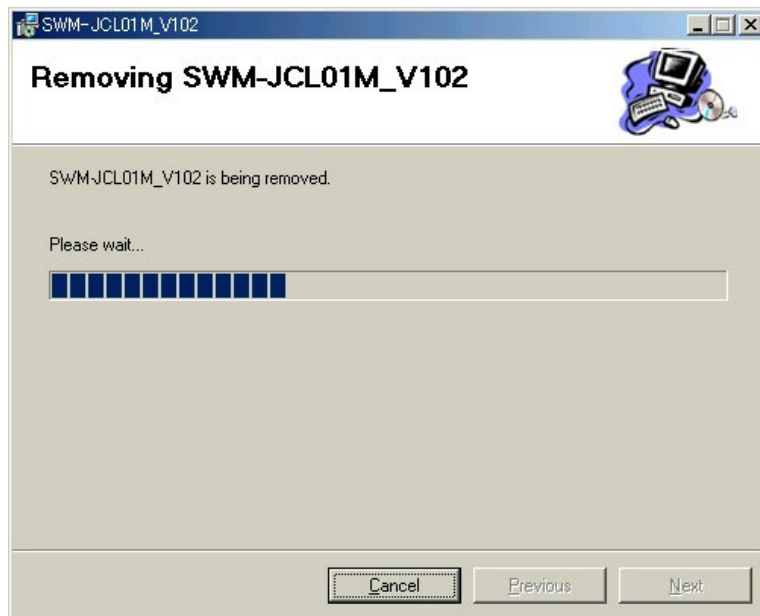


図1.3-6

(6) アンインストールが正常に終了した場合, 以下の画面を表示します。

Windows 2000/XPの場合(図1.3-7)

[Close] ボタンをクリックしてください。

Windows 98/NT4.0/Meの場合(図1.3-8)

[OK] ボタンをクリックしてください。

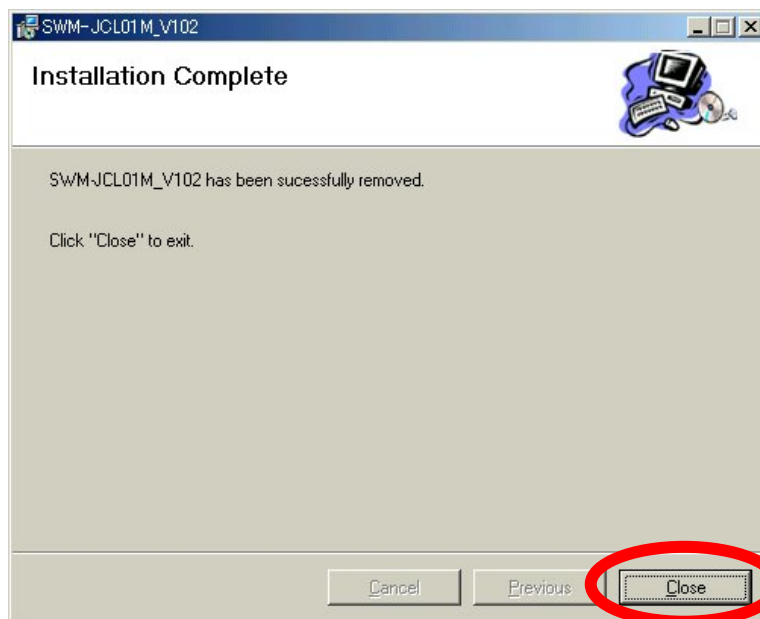


図1.3-7

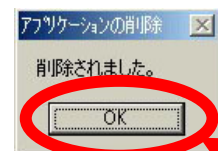


図1.3-8

2. モニタソフトの起動と終了

2.1 パソコン - JCL-33A 間の配線

⚠ 注意

モニタソフトを起動する前に、JCL-33A取扱説明書の"操作"の項を参照して、下記設定を確認してください。

- ・ 機器番号は、必ず"0"番から順に個別に設定してください。
"0"番の計器が無いとモニタソフトは起動しません。
- ・ 通信速度は、パソコン、通信変換器に合わせて設定してください。(19200bpsを推奨)
- ・ モニタソフトの接続台数は、最大80台です。
JCL-33Aを32台以上接続する場合、リピータを用意してください(80台の場合、リピータ2台必要)。

Dサブコネクタは、下図のように配線してください。配線しないと通信できません。

- ・ Dサブ9ピンコネクタの場合、1-4-6間および7-8間。
- ・ Dサブ25ピンコネクタの場合、4-5間および6-8-20間。

パソコン - JCL-33A間の配線は、JCL-33A通信取扱説明書の"配線"の項を参照してください。

●配線例1

- ・ IF-400を通信変換器として使用した場合、JCL-33Aを最大31台接続できます。

Dサブ9ピンコネクタの場合

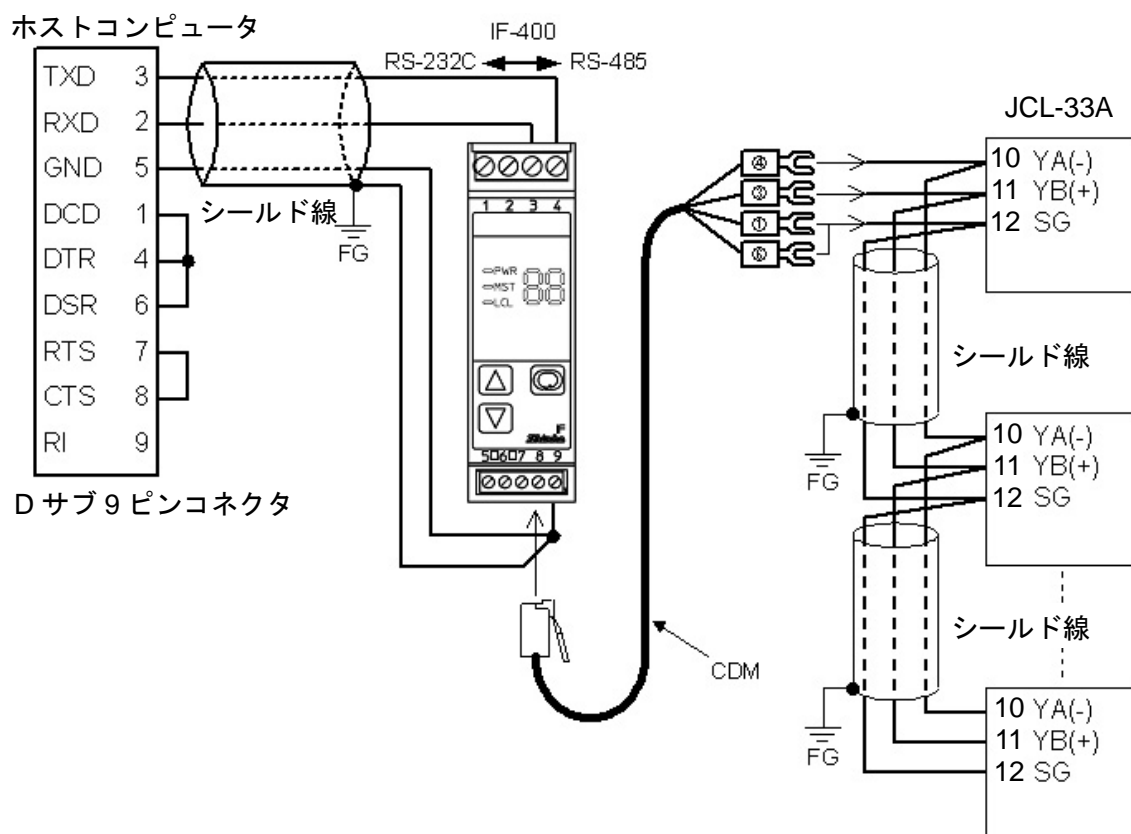
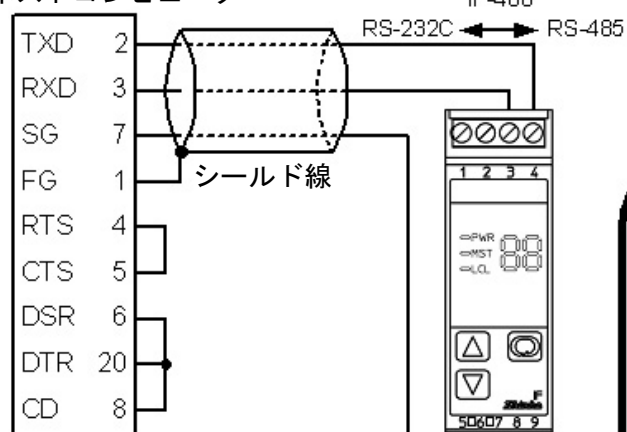


図2.1-1

Dサブ25ピンコネクタの場合

ホストコンピュータ



Dサブ25ピンコネクタ

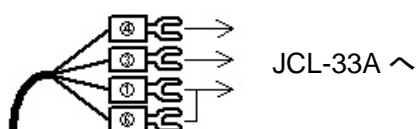
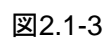


図2.1-2

- ・ IF-400をリピータとして使用した場合、JCL-33Aを32台以上接続できます。

リピータは最大2台、JCL-33Aはアドレス数制限80台まで接続できます。(通信ラインは最大3.6km)



2.2 モニタソフトの起動

(1) パソコンの通信ポートに通信ケーブルが接続されていることを確認してください。

スタートメニューから[プログラム(P)] - [SHINKO TECHNOS] - [SWM-JCL01M_Vxxx]を選択しクリックしてください。



図2.2-1

通信ケーブルが接続されていない場合、以下の画面を表示します。(図2.2-2)

2.1パソコン - JCL-33A間の配線(→P.17)を参照して接続を確認し、[OK]ボタンをクリックしてください。

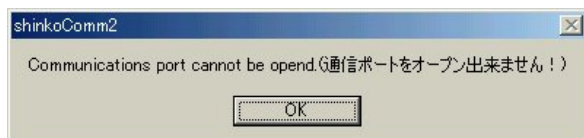


図2.2-2

以下の画面を表示します。(図2.2-3)

[OK]ボタンをクリックしてください。

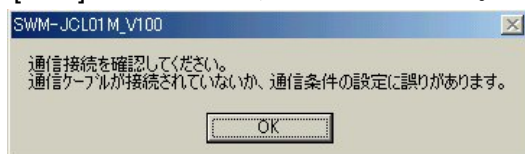


図2.2-3

(2) モニタソフトオープニング画面を表示し、JCL-33Aのデータを読み込みます。(図2.2-4)

通信条件設定画面を表示した場合、通信ポート、通信速度およびタイムアウト時間を選択し、[OK] ボタンをクリックしてください。(図2.2-5)

タイムアウト時間とは、モニタソフトからJCL-33Aに通信コマンドを送信し、応答が返ってこない場合の待ち時間の上限値です。

初期値は、通信ポート: COM1, 通信速度: 9600bps, タイムアウト時間: 200msecです。



図2.2-4

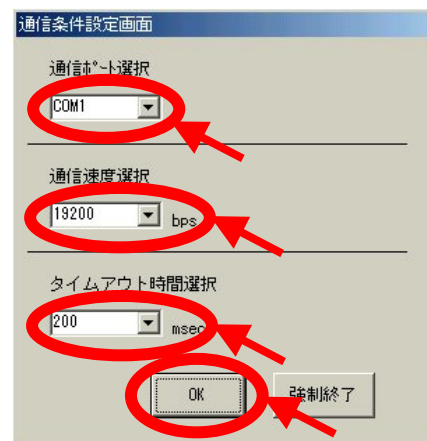


図2.2-5

(3) モニタソフトが起動します。

メイン画面

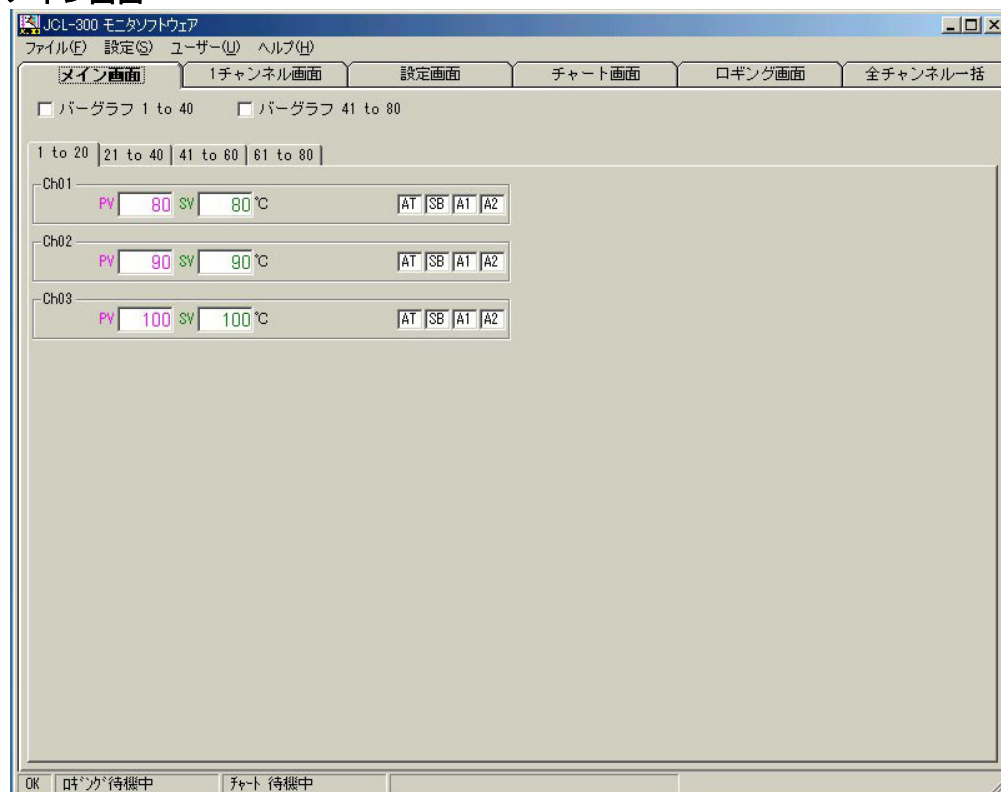


図2.2-7

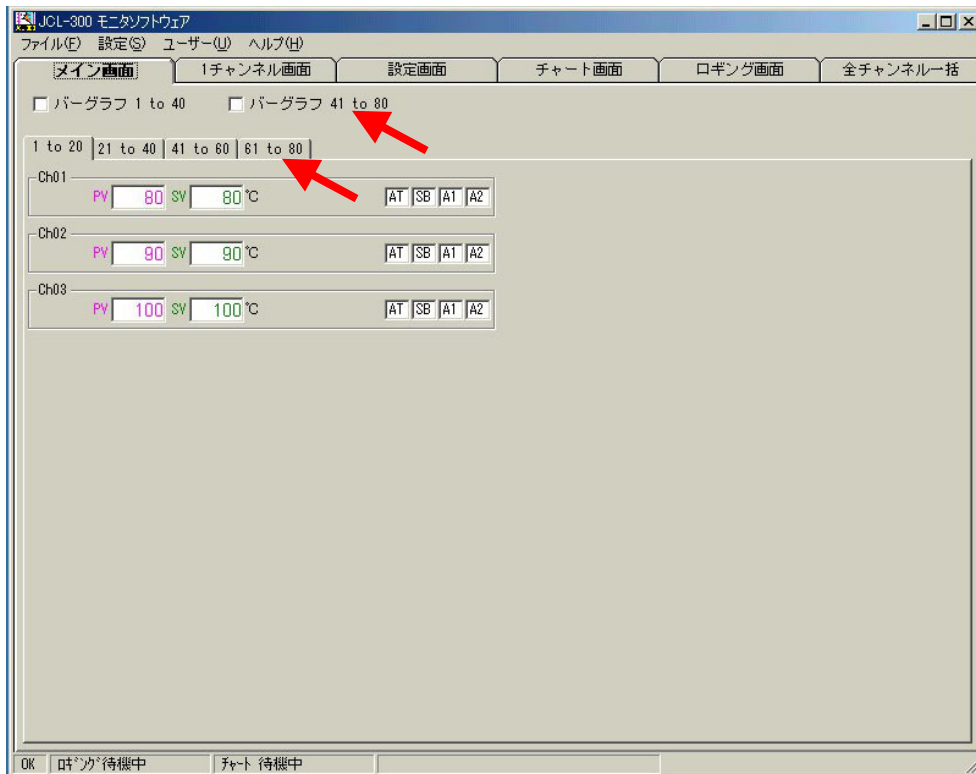
2.3 モニタソフトの画面および操作

2.3.1 画面の切り替え

タブをクリックすると画面を切り替えることができます。

(1) メイン画面

最大80チャンネル分のJCL-33AのPV値, SV値, オートチューニング, センサ断線警報および警報状態を20チャンネル毎にモニタする画面です。接続台数分だけを表示します。



プログラム制御の場合, 上記の他にステップ番号(STEP), ステップ時間(TIME)を表示します。

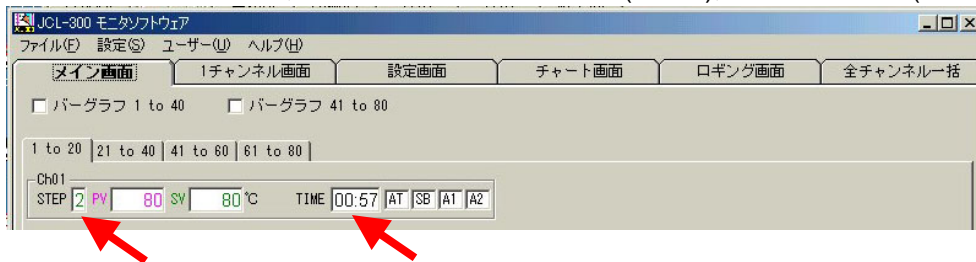


図2.3.1-1

操作説明

表示チャンネル切り替えタブをクリックすると, 20チャンネル毎に切り替えることができます。
JCL-33Aが接続されていない場合, 何も表示しません。

- | | |
|----------------|---------------------------------------|
| [1 to 20]タブ | : 機器番号0~19に設定されているJCL-33Aのデータを表示します。 |
| [21 to 40]タブ | : 機器番号20~39に設定されているJCL-33Aのデータを表示します。 |
| [41 to 60]タブ | : 機器番号40~59に設定されているJCL-33Aのデータを表示します。 |
| [61 to 80]タブ | : 機器番号60~79に設定されているJCL-33Aのデータを表示します。 |

- ☐ バーグラフ 1 to 40 : ☐ をクリック(チェック☒)すると, 機器番号0~39に設定しているJCL-33Aのバーグラフ表示画面に切り替わります。
- ☐ バーグラフ 41 to 80 : ☐ をクリック(チェック☒)すると, 機器番号40~79に設定しているJCL-33Aのバーグラフ表示画面に切り替わります。

バーグラフ表示画面

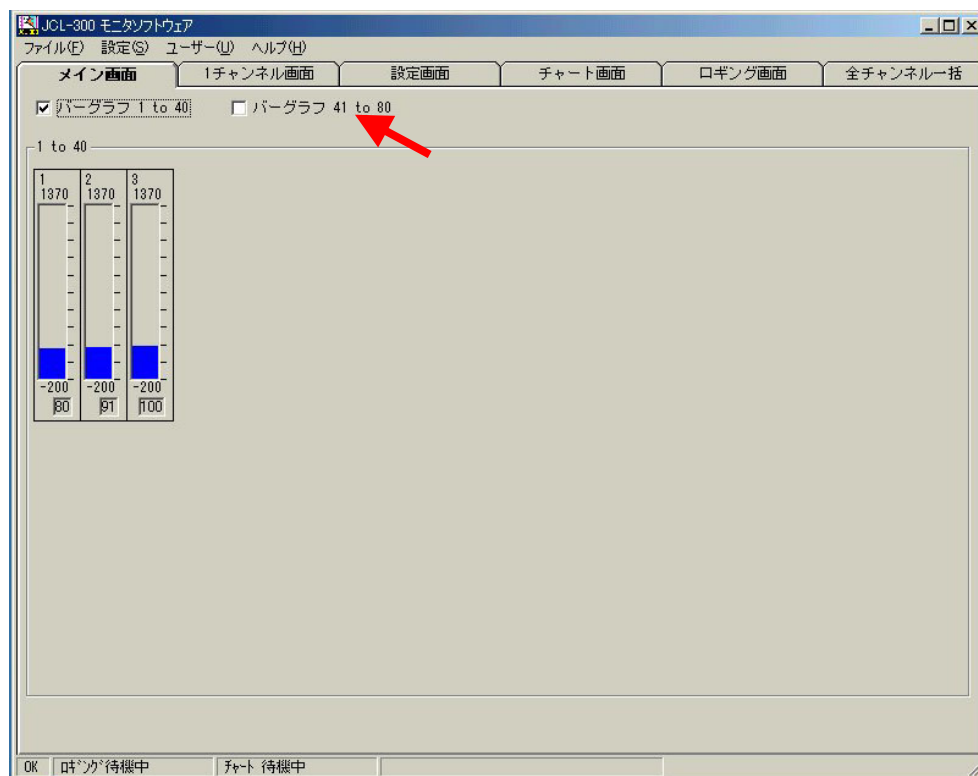


図2.3.1-2

バーグラフ表示は、上からチャンネル番号、スケーリング上限値、バーグラフ、スケーリング下限値、PV値を表示します。バーグラフの色は、次のようになります。

青：正常時。

赤：警報1，警報2，センサ断線警報，オーバスケール，アンダスケールのいずれか出力時。
警報が解除されると青色に切り替わります。

操作説明

☐ をクリック(チェック ☒)すると、40チャンネル毎に切り替えることができます。
JCL-33Aが接続されていない場合、何も表示しません。

☒ バーグラフ 1 to 40 : ☐ をクリック(チェック ☒)すると、機器番号0～39に設定しているJCL-33Aのバーグラフ表示画面に切り替わります。

☒ バーグラフ 41 to 80 : ☐ をクリック(チェック ☒)すると、機器番号40～79に設定しているJCL-33Aのバーグラフ表示画面に切り替わります。

☒ をクリックしチェックを外す(☐)と、メイン画面に切り替わります。

(2) 1チャンネル画面

表示チャンネル名選択で選択したJCL-33A 1台をモニタする画面です。

接続されているJCL-33AのOUT/OFFキー機能選択(キー操作)によりボタン表示が異なります。

制御出力OUT/OFF機能(定値制御)を選択した場合、[制御OUT/OFF]ボタンを表示します。

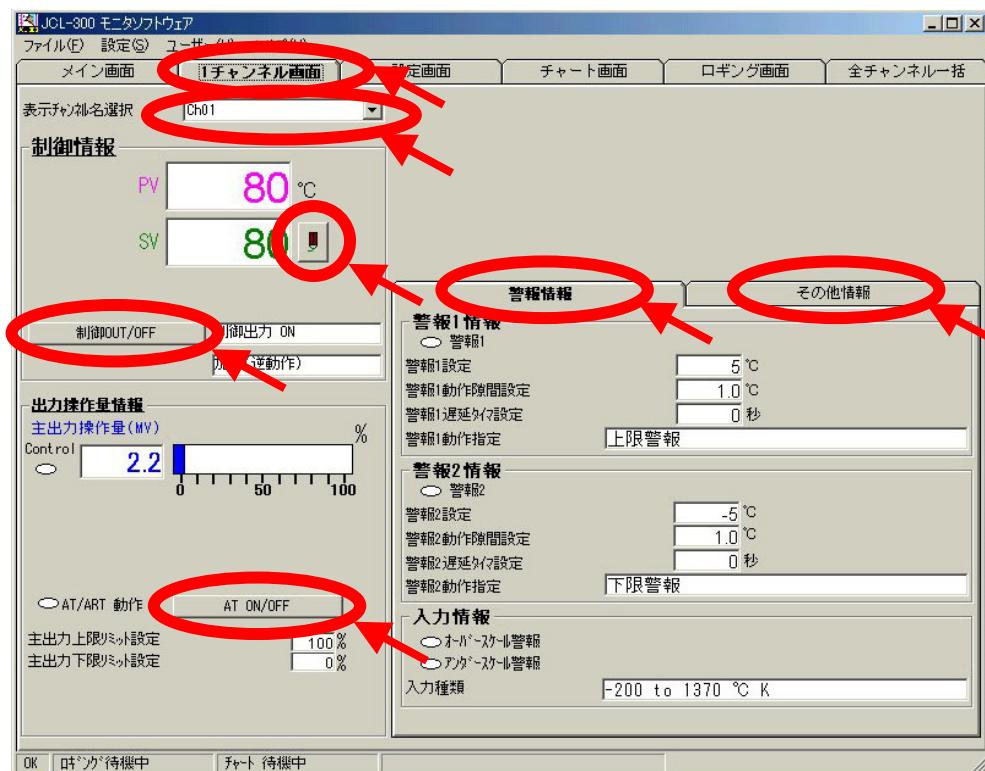


図2.3.1-3

プログラム制御機能を選択した場合、[RUN/STOP]ボタンおよびプログラム制御設定値を表示します。

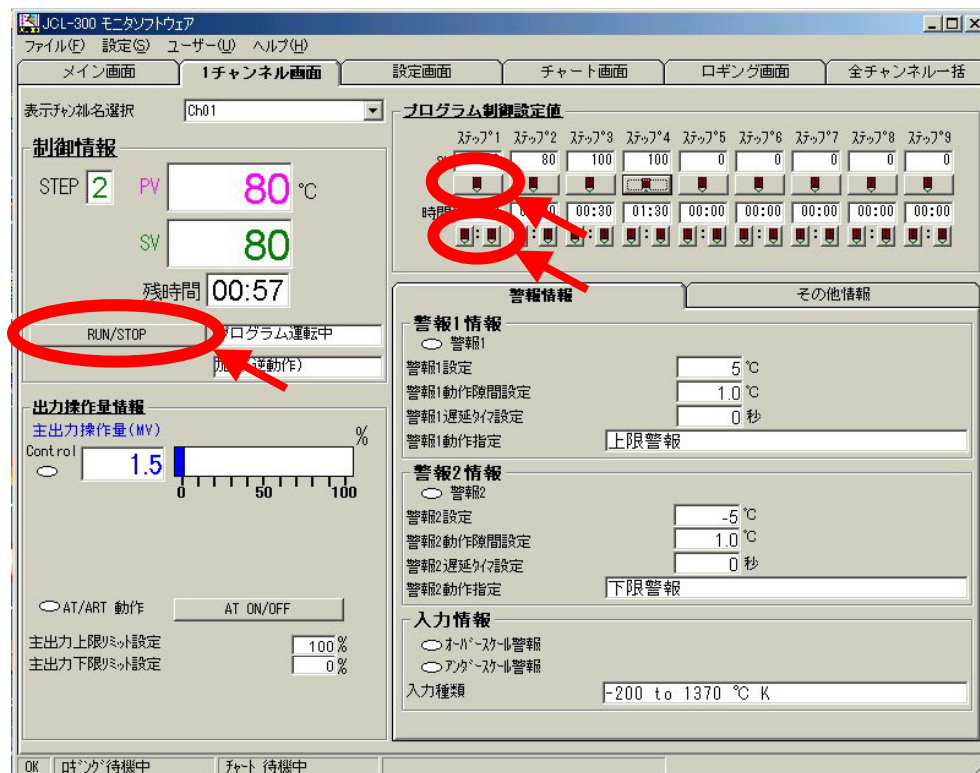


図2.3.1-4

操作説明

- [表示チャンネル名選択] : ▼ボタンをクリックし、表示したいチャンネルを選択してください。
JCL-33Aが接続されていないチャンネルを選択した場合、"このチャンネルには計器が接続されていません。"とのメッセージを表示します。

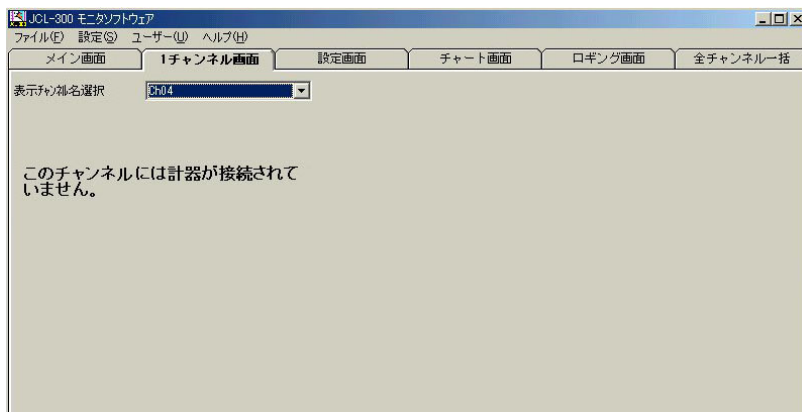


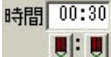


図2.3.1-5

-  [SV設定]ボタン : このボタンをクリックすると、テンキーボードを表示します。
SV設定値を入力し、[OK]ボタンをクリックしてください。
- [制御OUT/OFF]ボタン : 制御実行中このボタンをクリックすると、制御出力OFF機能はたらし、全ての出力をOFFにします。
再度クリックすると、制御出力OFF機能を解除し、制御実行状態に戻ります。
- [AT ON/OFF]ボタン : このボタンをクリックすると、オートチューニングを実行します。
再度クリックすると、オートチューニングを解除します。
- [警報情報]タブ : 警報1, 警報2, 入力情報を表示します。
- [その他情報]タブ : 制御パラメータ, センサ補正值などの情報を表示します。
- [RUN/STOP]ボタン : プログラム制御待機(スタンバイ)状態でこのボタンをクリックすると、プログラム制御を実行します。
再度クリックすると、プログラム制御を停止します。
-  [SV設定]ボタン : このボタンをクリックすると、テンキーボードを表示します。
ステップSV設定値を入力し、[OK]ボタンをクリックしてください。
-  [時間設定]ボタン : このボタンをクリックすると、テンキーボードを表示します。
ステップ時間設定値(時:分または分:秒)を入力し、[OK]ボタンをクリックしてください。

[その他情報]タブをクリックすると、制御パラメータ、センサ補正值などを表示します。

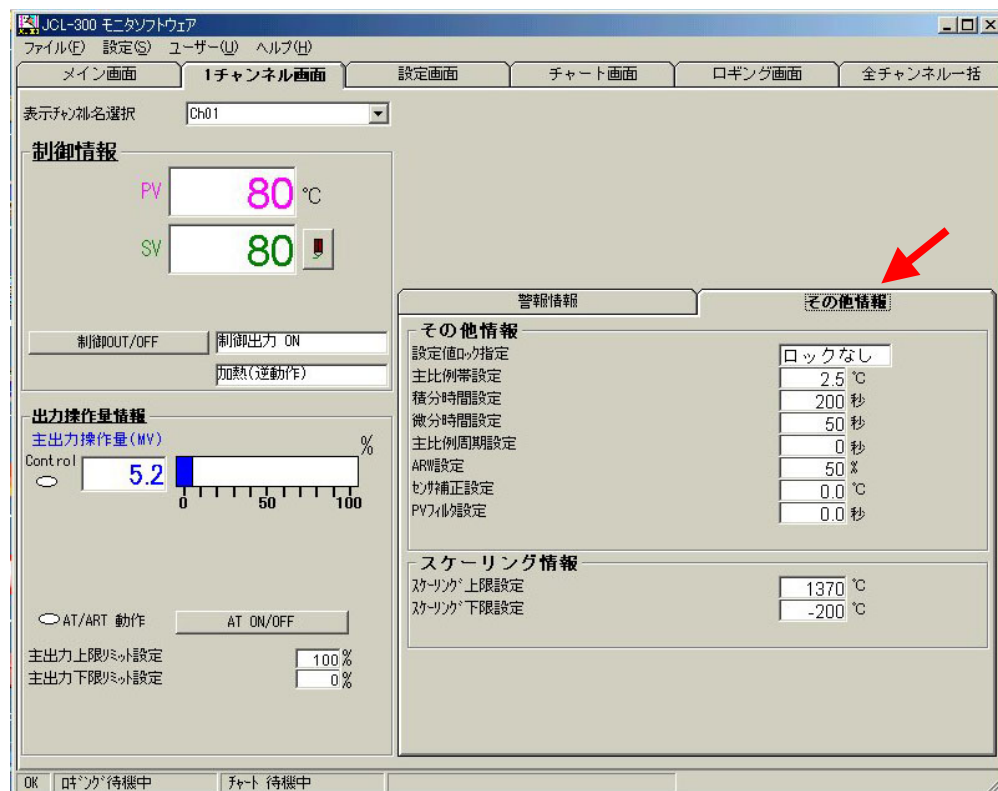


図2.3.1-6

加熱冷却制御(オプション: DR)を付加している場合、冷却出力操作量(MV)を表示します。

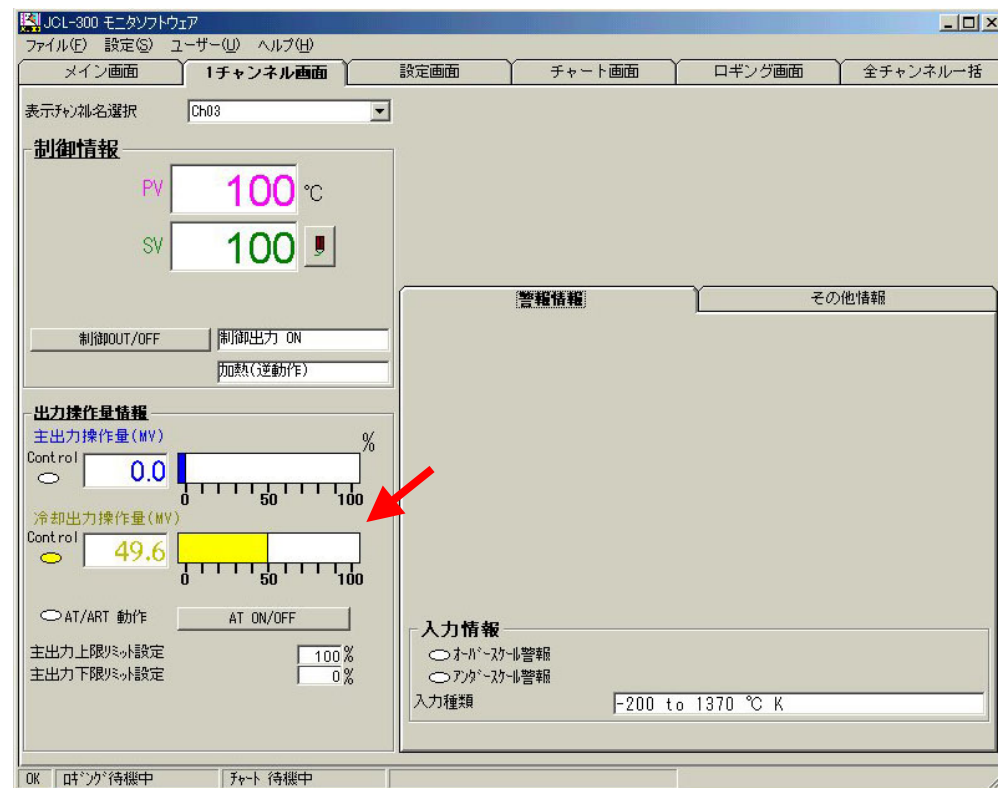


図2.3.1-7

(3) 設定画面

20チャンネル毎の各設定値を設定する画面です。

JCL-33Aが接続されていないチャンネルは、"未接続のチャンネル"と表示します。

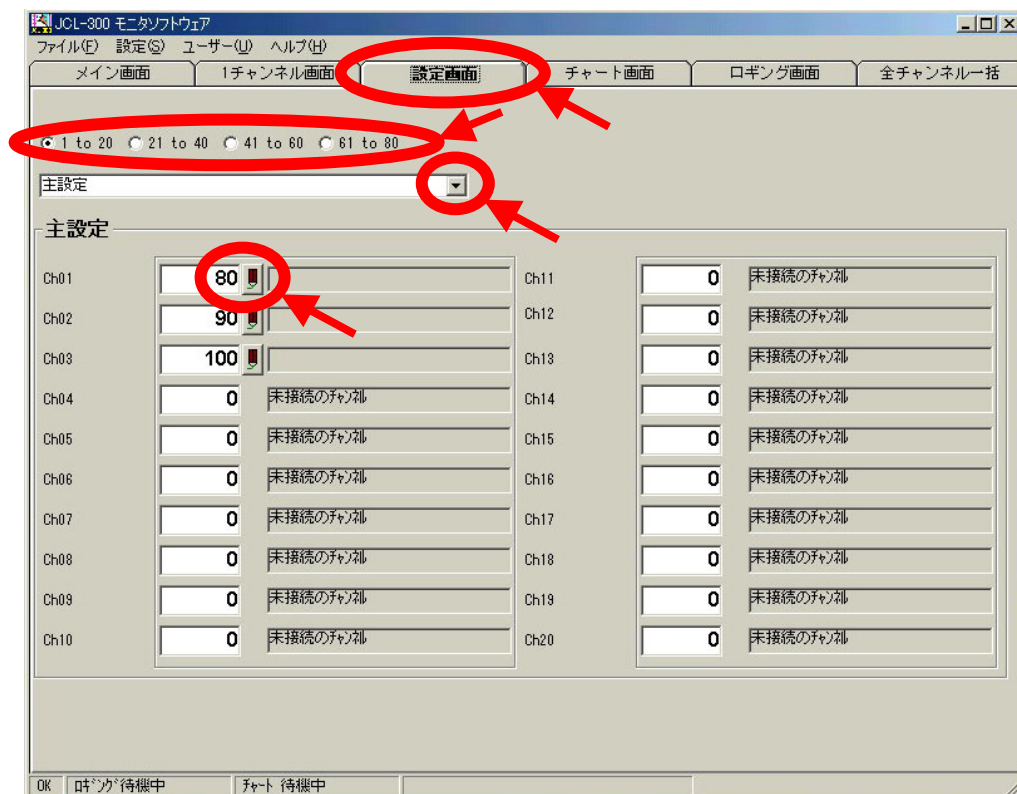


図2.3.1-8

操作説明

- 1 to 20 : をクリック()すると、機器番号0～19に設定されているJCL-33Aの設定値を表示します。
- 21 to 40 : をクリック()すると、機器番号20～39に設定されているJCL-33Aの設定値を表示します。
- 41 to 60 : をクリック()すると、機器番号40～59に設定されているJCL-33Aの設定値を表示します。
- 61 to 80 : をクリック()すると、機器番号60～79に設定されているJCL-33Aの設定値を表示します。

[設定項目名選択] : ▼ボタンをクリックし、設定したい設定項目を選択してください。

[設定]ボタン : このボタンをクリックすると、テンキーボードまたは選択画面を表示します。
設定値を入力または選択し、[OK]ボタンをクリックしてください。

- ・設定値変更画面(数値設定)

例: 主設定変更


[設定項目選択]で主設定を選択し、 [設定] ボタンをクリックすると設定値変更画面を表示します。



図2.3.1-9

設定方法

設定値変更画面には、選択したチャンネルの現在の設定値および設定可能範囲を表示します。

設定値をテンキーまたはキーボードから入力し、[OK] ボタンをクリックしてください。

小数点付きの設定項目は、自動的に小数点を表示します。
5.0と設定したい場合、50と入力してください。


[+/-] ボタンをクリックすると、符号反転します。

-100と設定したい場合、100, [+/-] と入力してください。

[CE] ボタンをクリックすると、数値をクリアします。

- ・設定項目動作選択画面

例: 設定値ロック選択

[設定項目選択]で設定値ロック指定を選択し、 [設定] ボタンをクリックすると設定項目動作選択画面を表示します。

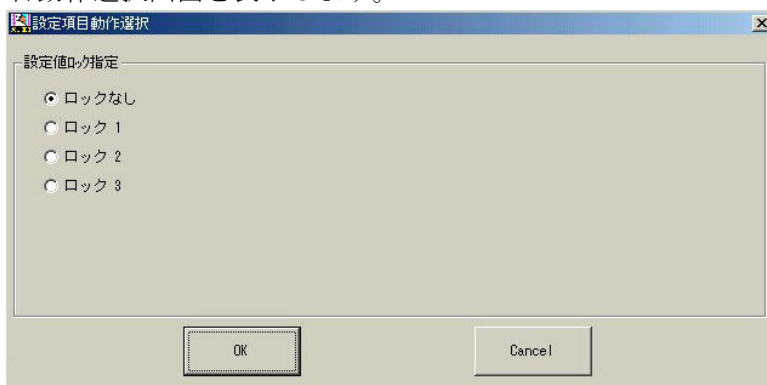


図2.3.1-10

選択方法

設定値ロック種類を選択し、[OK] ボタンをクリックしてください。

例: 小数点位置選択

[設定項目選択]で小数点位置指定を選択し、 [設定] ボタンをクリックすると設定項目動作選択画面を表示します。

DC入力以外を選択した場合、そのチャンネルの [設定] ボタンは表示しません。

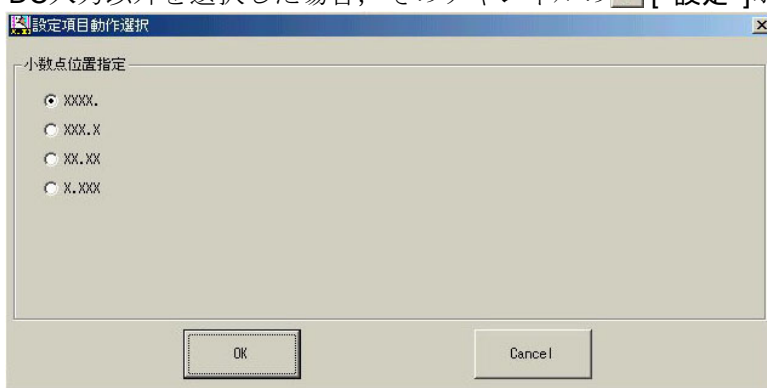


図2.3.1-11

選択方法

小数点位置を選択し、[OK] ボタンをクリックしてください。

例: 警報1動作選択

[設定項目選択]で警報1動作指定を選択し、 [設定]ボタンをクリックすると設定項目動作選択画面を表示します。

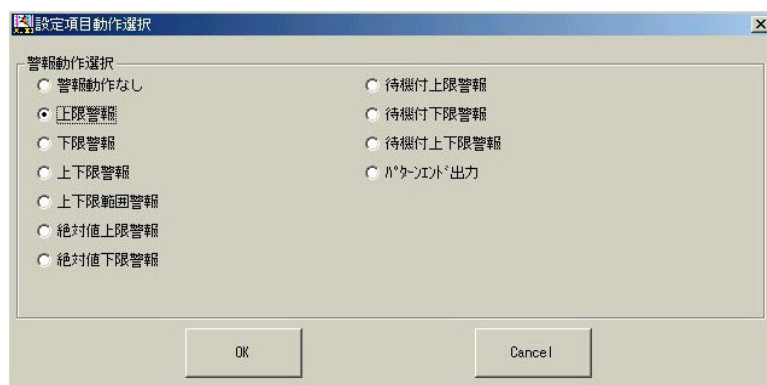


図2.3.1-12

選択方法

警報動作を選択し、[OK]ボタンをクリックしてください。

注 意

警報動作を変更すると、警報設定値が0になります。
警報設定値を設定し直してください。

例: 警報保持機能選択


[設定項目選択]で警報保持機能選択を選択し、 [設定]ボタンをクリックすると設定項目動作選択画面を表示します。



図2.3.1-13

選択方法

A1またはA2の警報動作を保持するか、しないかを選択し、[OK]ボタンをクリックしてください。

例：入力種類選択

[設定項目選択]で入力種類選択を選択し、 [設定]ボタンをクリックすると設定項目動作選択画面を表示します。

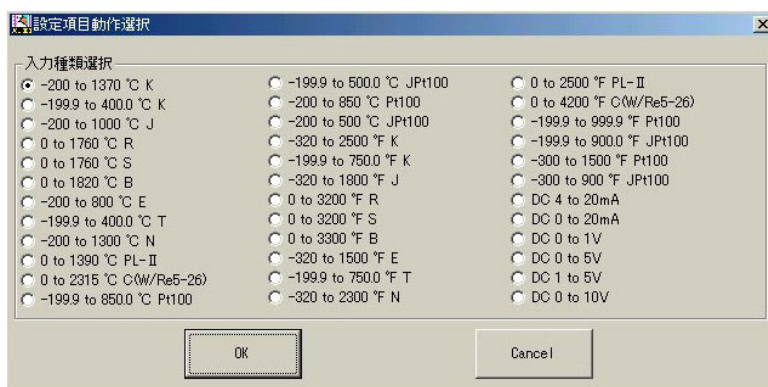


图2.3.1-14

選択方法

入力種類を選択し、[OK]ボタンをクリックしてください。

注意

- ・ 直流電圧入力から変更する場合、計器に接続しているセンサを外してから入力への変更を行ってください。
センサを接続したまま入力の変更を行うと、入力回路が故障します。
- ・ 入力種類を変更すると、主設定、警報1、警報2、スケーリング上限、下限値を初期化します。

例：正/逆動作選択

【設定項目選択】で正逆動作選択を選択し、【設定】ボタンをクリックすると設定項目動作選択画面を表示します。

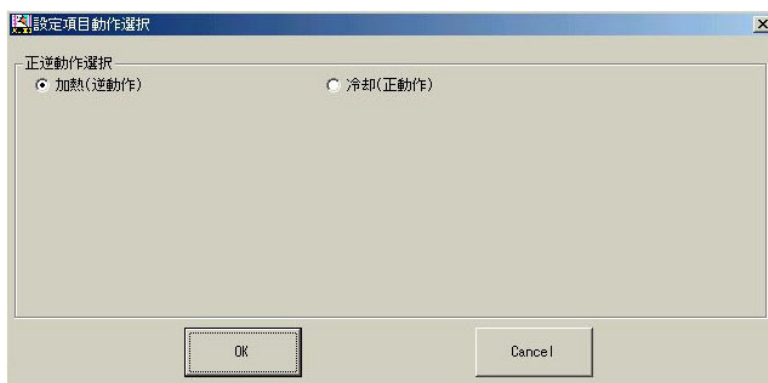


图 2.3.1-15

選択方法

加熱(逆動作)または冷却(正動作)を選択し、[OK]ボタンをクリックしてください。

・動作選択画面

例: オートチューニング実行/解除

[設定項目選択]でAT設定を選択すると、動作選択画面を表示します。

プログラム制御の場合、そのチャンネルの[制御OUT/OFF]ボタンは表示しません。



図2.3.1-16

表示の説明

制御出力ON時緑色ランプが点灯，制御出力OFF時緑色ランプが消灯します。

オートチューニング実行時黄色ランプが点灯，オートチューニング解除時黄色ランプが消灯します。

選択方法

[制御OUT/OFF]ボタン : 制御実行中このボタンをクリックすると，制御出力OFF機能がはたらき，全ての出力をOFFにします。
再度クリックすると，制御出力OFF機能を解除し，制御実行状態に戻ります。

[AT ON/OFF]ボタン : このボタンをクリックすると，オートチューニングを実行します。
再度クリックすると，オートチューニングを解除します。

(4) チャート画面

チャートを表示する画面です。

チャート表示できる点数は最大80点で、制御入力値(PV)、主設定(SV)の中から選択できます。

チャート描写条件設定を行わないと、チャート表示を開始できません。

チャート表示停止後、再度開始するとチャート画面をクリアして再描写となります。

チャート実行中モニタソフトを終了した場合、次回起動時自動的にチャート表示を開始します。

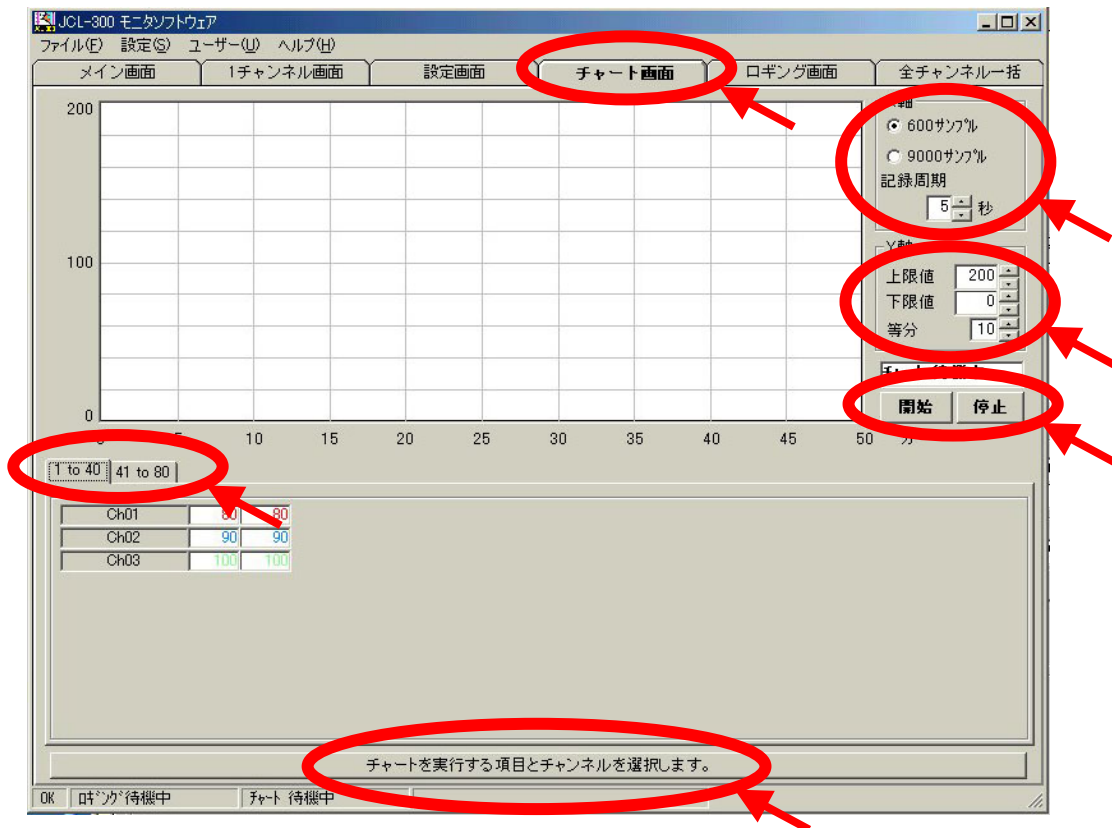


図2.3.1-17

操作説明

- [X軸]設定項目 : サンプル数を選択、記録周期(1～60秒)を設定してください。
例えば、サンプル数を600、記録周期を5秒とすると、3000秒となり、
X軸の表示は0～50分になります。
- [Y軸]設定項目 : チャート表示の上限値、下限値および等分を設定してください。
- [開始]ボタン : このボタンをクリックすると、チャート表示を開始します。
- [停止]ボタン : このボタンをクリックすると、チャート表示を停止します。
- [1 to 40]タブ : 機器番号0～39に設定されているJCL-33Aのデータを表示します。
- [41 to 80]タブ : 機器番号40～79に設定されているJCL-33Aのデータを表示します。
- [チャートを実行する項目とチャンネルを選択します。]ボタン:
このボタンをクリックすると、チャート描写条件設定画面に移行します。

チャート描写が終了した場合、以下の画面を表示します。



図 2.3.1-18

(5) チャート描写条件設定画面

チャートを実行する項目とチャンネル番号、チャートの色など描写条件を表示する画面です。
チャート描写条件設定を行わないと、チャートを開始できません。

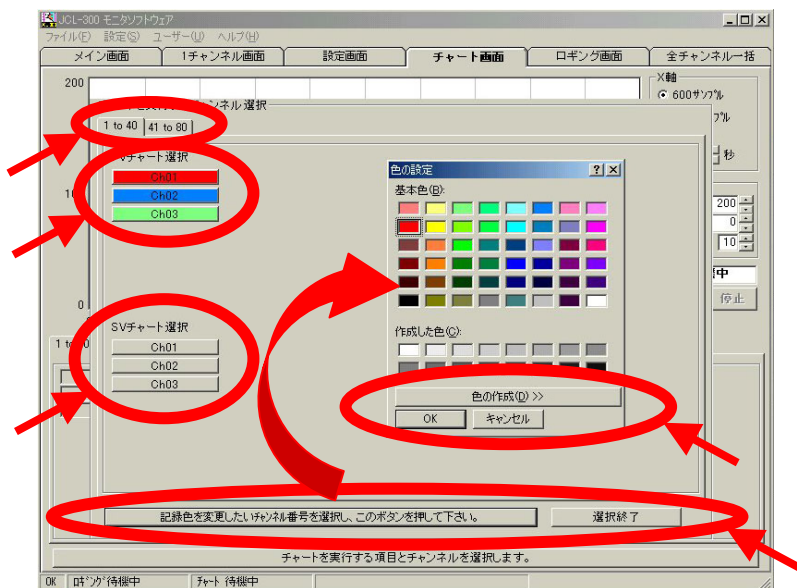


図2.3.1-19

操作説明

- [1 to 40]タブ : 機器番号0~39に設定されているJCL-33Aのチャート描写条件を設定します。
- [41 to 80]タブ : 機器番号40~79に設定されているJCL-33Aのチャート描写条件を設定します。
- [Chxx]ボタン : PV, SVそれぞれ表示させたいチャンネルを選択してください。
- [記録色を変更したいチャンネル番号を選択し、このボタンを押してください。]ボタン : このボタンをクリックすると、色の設定画面を表示します。
- [選択終了]ボタン : このボタンをクリックすると、チャート描写条件設定を終了し、チャート画面に戻ります。

色の設定画面

- [色の作成(D)]ボタン : このボタンをクリックすると、任意の色を作成し追加できます。
- [OK]ボタン : このボタンをクリックすると、色を設定し画面を閉じます。
- [キャンセル]ボタン : このボタンをクリックすると、色を設定せずに画面を閉じます。

チャート実行例

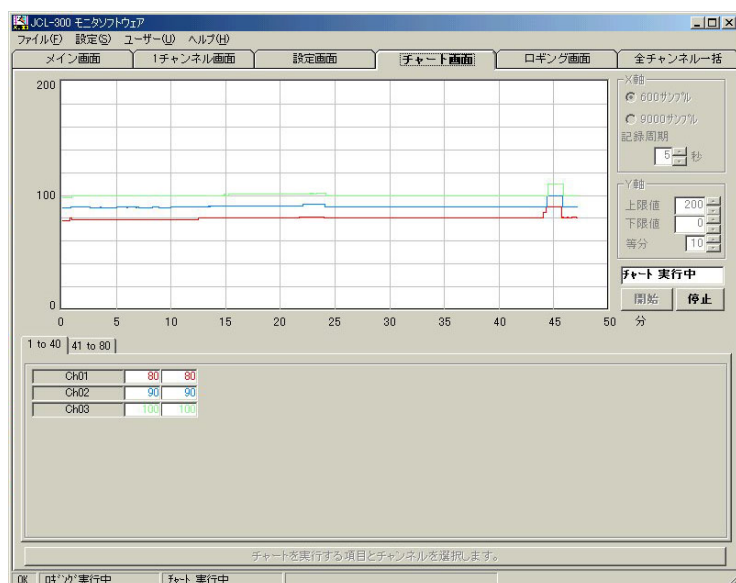


図2.3.1-20

(6) ロギング画面

データロギング条件を設定する画面です。

データロギング保存先を設定しないと、データロギングを開始できません。

[参照] ボタンをクリックしてファイル名を入力してください。

ただし、継続してデータ保存にチェックが入っていると、データロギングを開始した日時(西暦_月_日_時_分_秒.csv)で自動的にファイルを作成し、インストール先の logging フォルダ内に保存します。

[開始] ボタンをクリックすると、データロギング時間毎に選択したチャンネルのPV値をファイルに保存します。

保存したデータは、Microsoft Excel など市販の表計算ソフトウェアで編集が行えます。

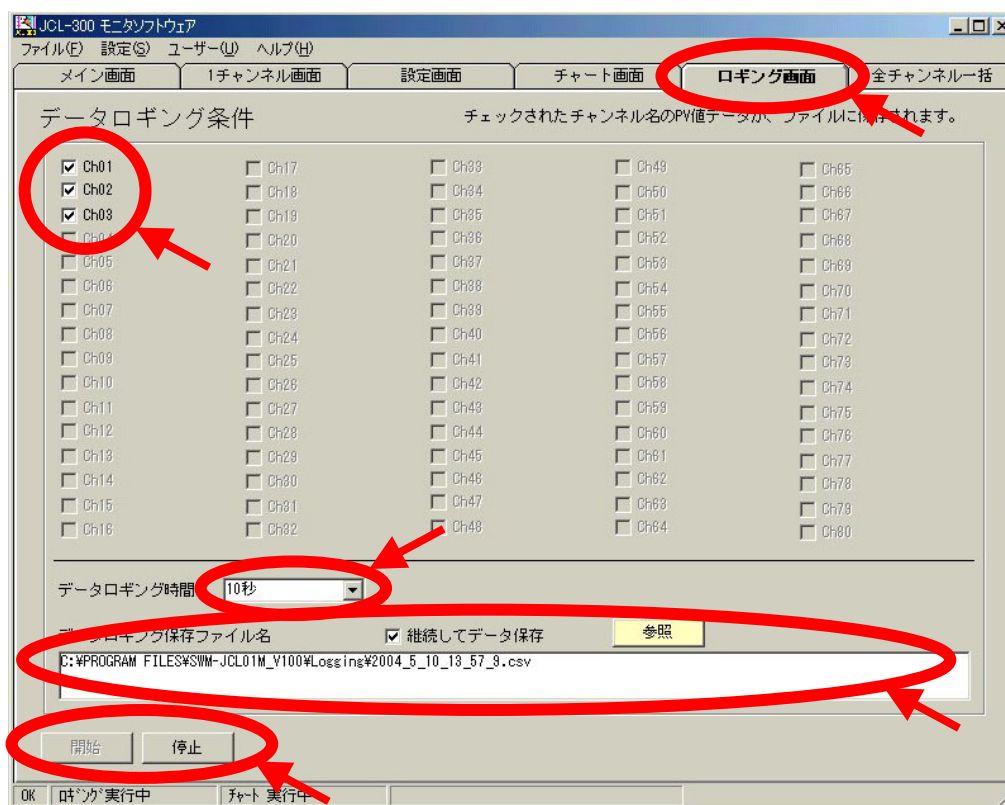


図2.3.1-21

操作説明

- [Ch01～80] 選択項目 : チャンネル横の ☐ をクリック(チェック ☒) し、データロギングしたいチャンネルを選択してください。
- [データロギング時間] 選択項目 : ▼ ボタンをクリックし、データロギング時間を選択してください。
- ☐ 継続してデータ保存 : ☐ をクリック(チェック ☒) し、データロギングを開始すると、前回と同じファイルに追加保存します。チェックを外し、データロギングを開始すると、新規にファイルを開き保存します。
- [参照] ボタン : ファイル名を変更したい場合、このボタンをクリックしてください。
「ファイルを開く」ダイアログボックスが開きます。ファイルを選択し、[開く(O)] ボタンをクリックしてください。
- [開始] ボタン : このボタンをクリックすると、データロギングを開始します。
- [停止] ボタン : このボタンをクリックすると、データロギングを停止します。

モニタソフト起動時のオートスタートについて

データロギング実行中のままモニタソフトを終了した場合、モニタソフト起動時自動的にデータロギングを開始します。

継続してデータ保存にチェックが入っているか、いないかでファイルへの保存方法が異なります。

- ・継続してデータ保存にチェックが入っている場合

前回と同じファイルに追加保存します。

- ・継続してデータ保存にチェックが入っていない場合

前回と同じファイルに上書きを行うかどうか確認画面を表示します。

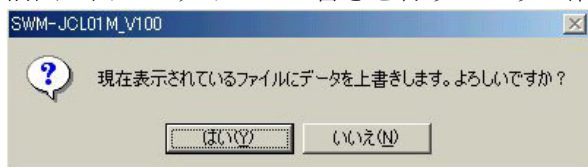
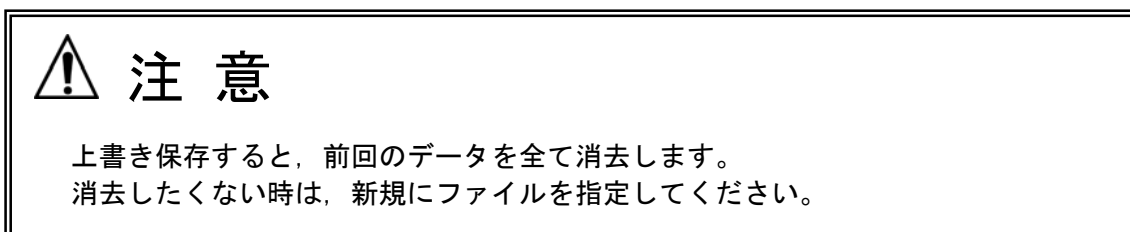


図2.3.1-22

[はい(Y)] ボタンをクリックすると、前回と同じファイルに上書き保存します。



[いいえ(N)] ボタンをクリックすると、以下の画面を表示します。

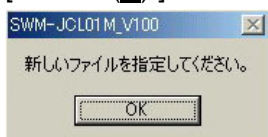


図2.3.1-23

[OK] ボタンをクリックすると、以下の画面を表示します。

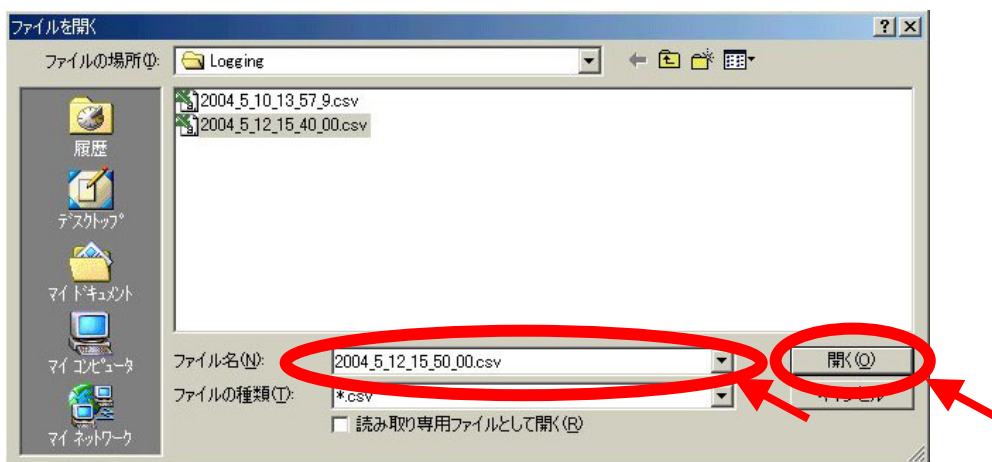


図2.3.1-24

新しいファイル名を入力し、[開く(O)] ボタンをクリックしてください。
入力したファイルに保存します。

(7) 全チャンネル一括設定画面

接続されている全てのJCL-33Aに転送するデータを設定する画面です。
画面上の設定値をファイルにセーブ(保存)またはファイルからロード(読み込み)を行います。

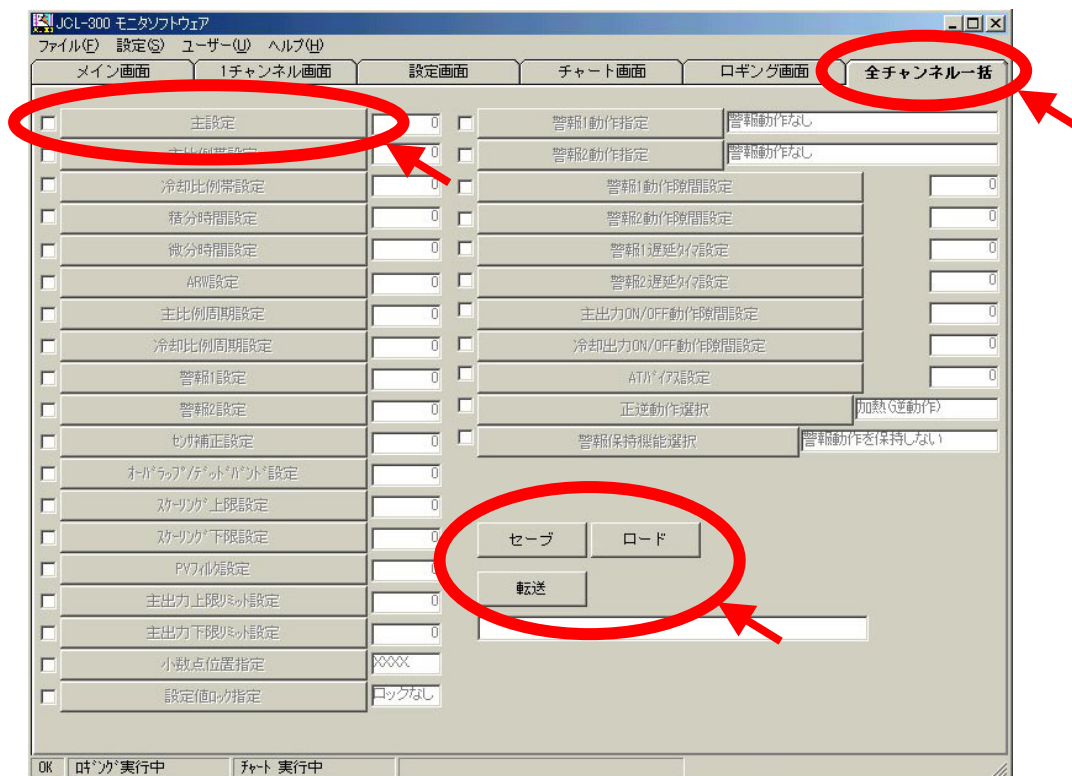


図2.3.1-25

操作説明

各設定／選択項目 : ☐ をクリック(チェック)し、転送する項目を選択してください。
チェックを付けると各設定／選択項目ボタンが有効になり、設定／選択ができるようになります。

各設定／選択項目ボタン : このボタンをクリックすると、テンキーボードまたは選択画面を表示します。
設定値を入力または選択し、[OK]ボタンをクリックしてください。

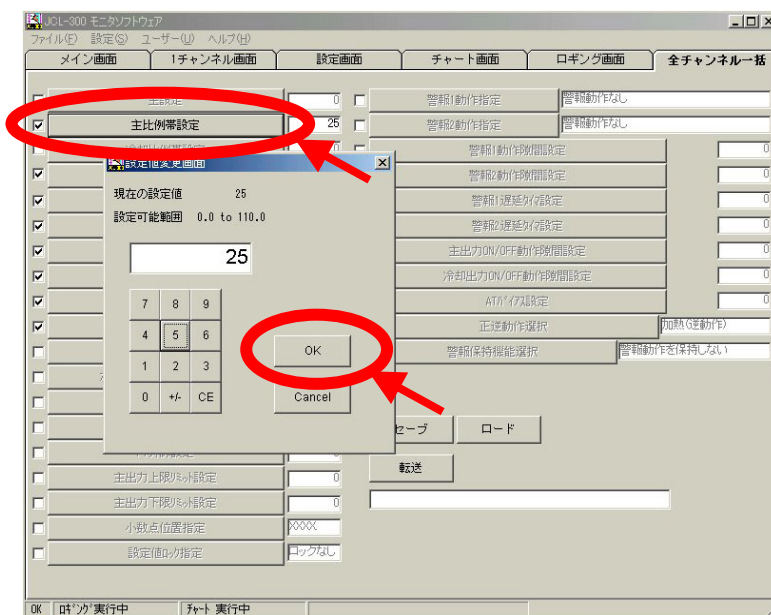


図2.3.1-26 (例) 主比例帯設定テンキーボード

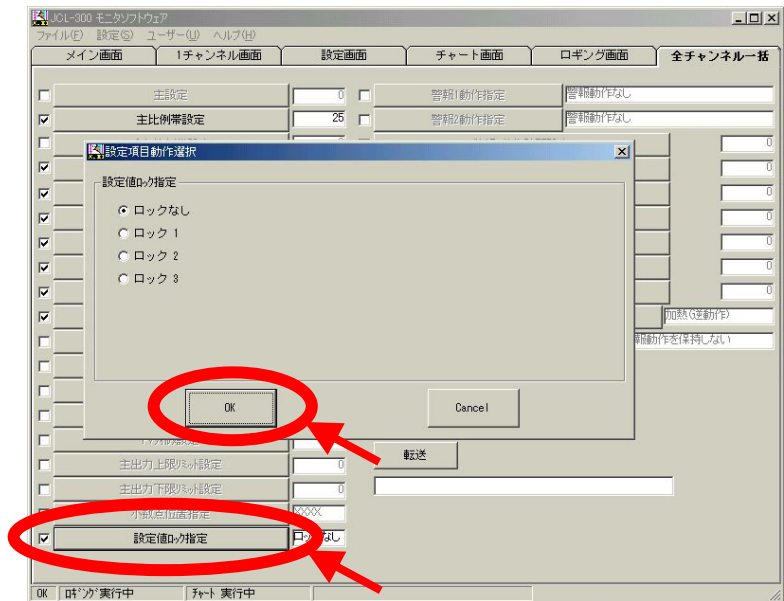


図2.3.1-27 (例)設定値ロック指定選択画面

[セーブ]ボタン

: このボタンをクリックすると、「名前を付けて保存」ダイアログボックスが開きます。

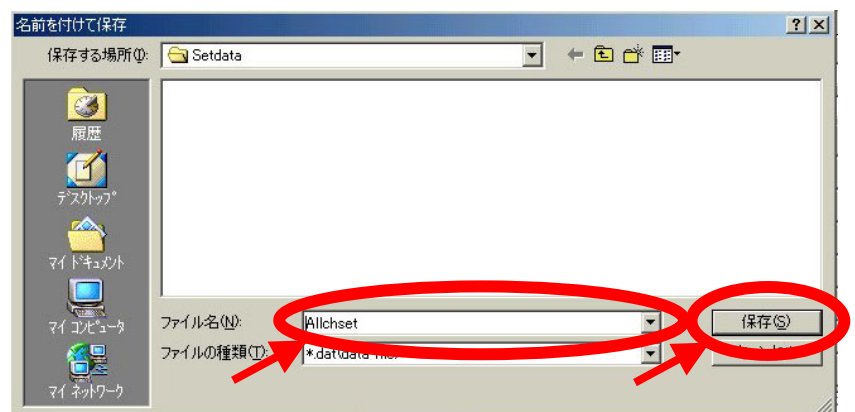


図2.3.1-28

ファイル名を入力し、[保存(S)]ボタンをクリックしてください。
画面上のデータをインストール先の Setdataフォルダ内ファイル
に保存します。

[ロード]ボタン

: このボタンをクリックすると、"この画面のデータに上書きされます。
よろしいですか?"という確認画面を表示します。

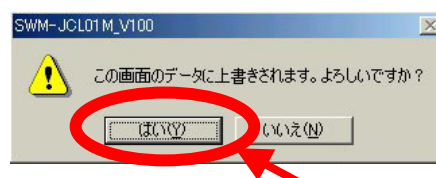


図2.3.1-29

[はい(Y)]ボタンをクリックすると、「ファイルを開く」ダイアログ
ボックスが開きます。(図2.3.1-30)

[いいえ(N)]ボタンをクリックすると、ロードを取り消し確認画面
を閉じます。

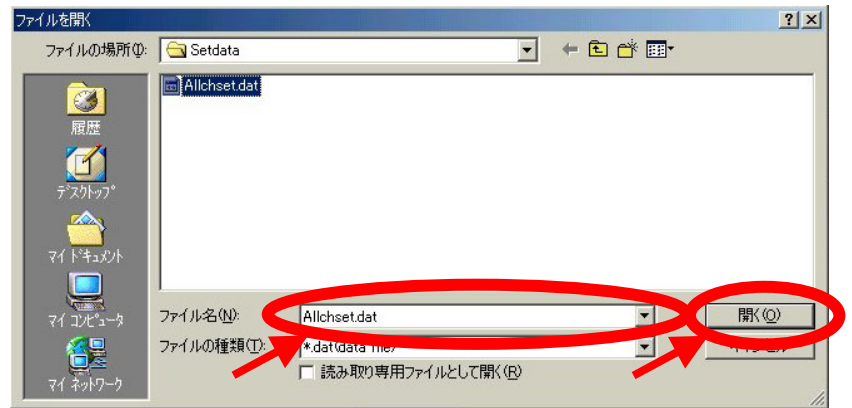


図2.3.1-30

ファイルを選択し、[開く(O)]ボタンをクリックしてください。
ファイルからデータを読み込み、画面表示を更新します。

[転送]ボタン

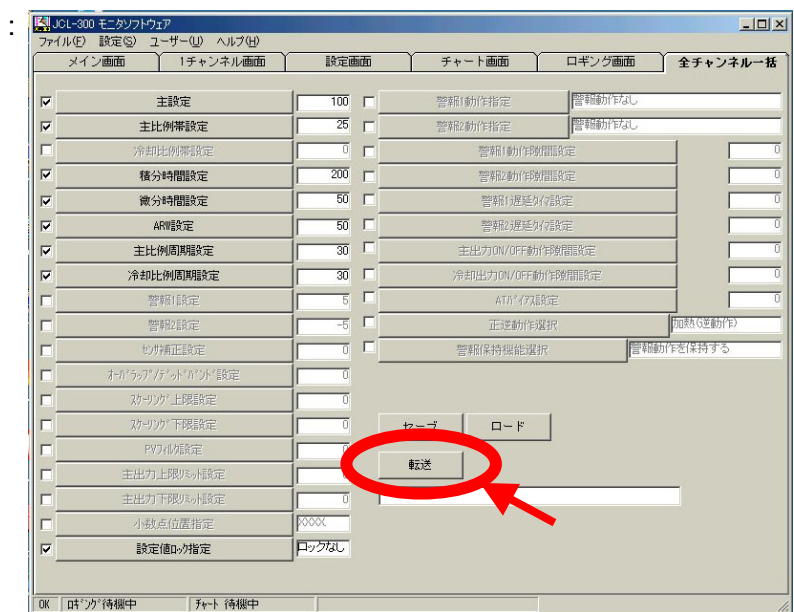


図2.3.1-31

このボタンをクリックすると、"全チャンネルのデータが上書きされます。よろしいですか?"という確認画面を表示します。

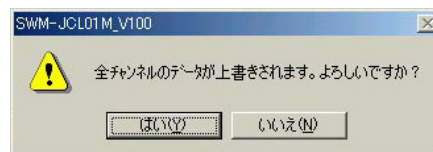


図2.3.1-32

[はい(Y)]ボタンをクリックすると、チェックを付けた設定／選択項目が接続されている全てのJCL-33Aに転送します。

[いいえ(N)]ボタンをクリックすると、転送を中止します。

チェックの付いていない設定／選択項目は転送しません。

また、AT(オートチューニング)中のJCL-33Aがある場合、以下の画面を表示し、転送しません。

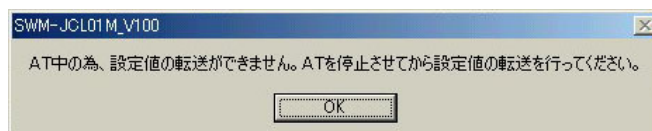


図2.3.1-33

2.3.2 メニューバーの操作

(1) プリンタ選択

印刷に使用するプリンタを選択します。

- ① メニューバーの[**ファイル(E)**]-[**プリンタ選択(S)**]を選択し、クリックしてください。

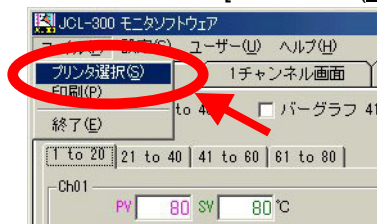


図 2.3.2-1

- ② プリンタ選択画面を表示します。

プリンタを選択し、[**OK**]ボタンをクリックしてください。

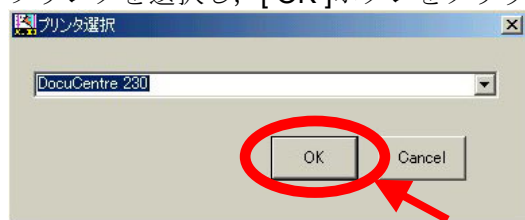


図 2.3.2-2

(2) 印刷

モニタソフト画面上の表示内容を印刷します。

- ① メニューバーの[**ファイル(E)**]-[**印刷(P)**]を選択し、クリックしてください。
モニタソフト画面上の表示内容を印刷します。

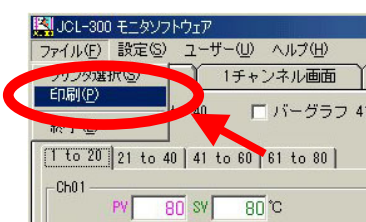


図 2.3.2-3

(3) モニタソフトの終了

モニタソフトを終了します。

- ① メニューバーの[**ファイル(E)**]-[**終了(E)**]を選択し、クリックしてください。

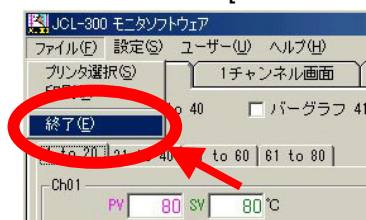


図2.3.2-4

- ② 終了確認画面を表示します。

終了する場合は[**はい(Y)**], 終了しない場合は[**いいえ(N)**]ボタンをクリックしてください。

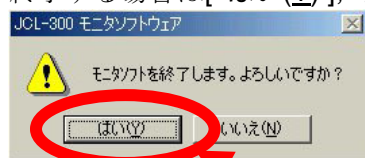


図2.3.2-5

(4) チャンネル名登録

モニタソフト画面上に表示するチャンネル名を登録します。

登録したチャンネル名は、モニタソフト画面上やチャンネル名選択リストに表示します。

- ① メニューバーの[設定(S)]-[チャンネル名登録(C)]を選択しクリックしてください。

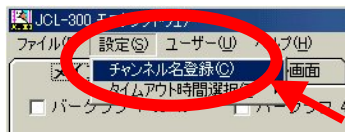


図 2.3.2-6

- ② チャンネル名登録画面を表示します。

チャンネル名を入力し、[OK]ボタンをクリックしてください。

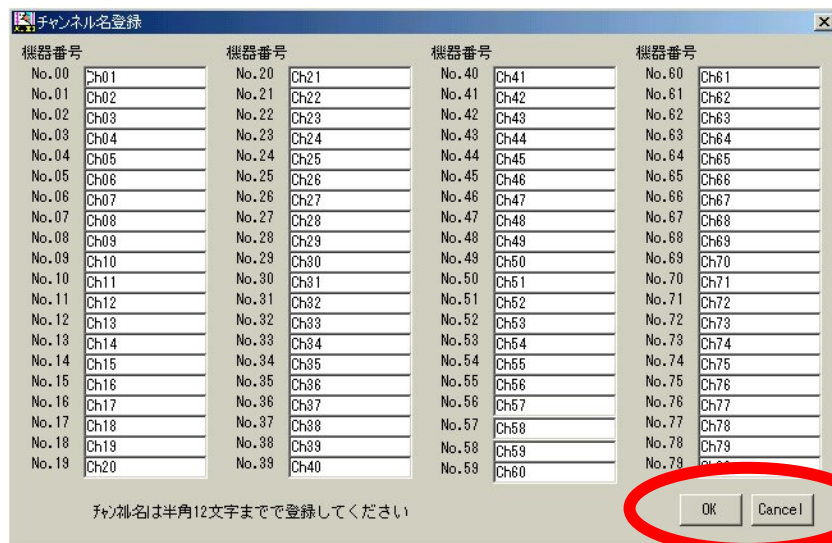


図 2.3.2-7

- ③ 以下の画面を表示します。[OK]ボタンをクリックしてください。

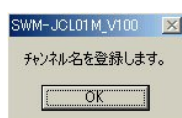


図 2.3.2-8

(5) タイムアウト時間選択

モニタソフトのタイムアウト時間を選択します。

タイムアウト時間とは、モニタソフトからJCL-33Aに通信コマンドを送信し、応答が返ってこない場合の待ち時間の上限値です。

初期値は、200msec です。

メニューバーの[設定(S)]-[タイムアウト時間選択(T)]-[タイムアウト時間]を選択しクリックしてください。

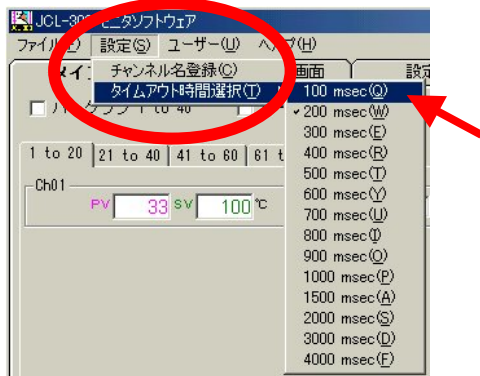


図 2.3.2-9

(6) チャンネル単位 設定値のセーブとロード

画面上の設定値をチャンネル単位でファイルにセーブ(保存)またはファイルからロード(読み込み)を行います。チャンネル間のデータ転送を行います。

- ① メニューバーの[ユーザー(U)]-[設定値のセーブ/ロード(G)]-[チャンネル単位(C)]を選択し、クリックしてください。

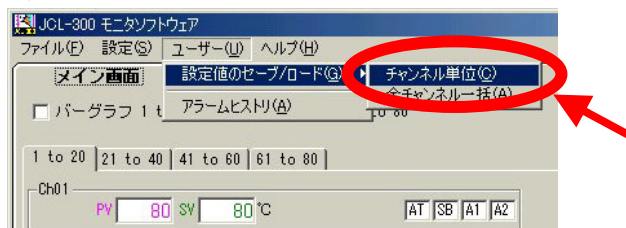


図2.3.2-10

- ② チャンネル単位 設定値セーブとロード画面を表示します。

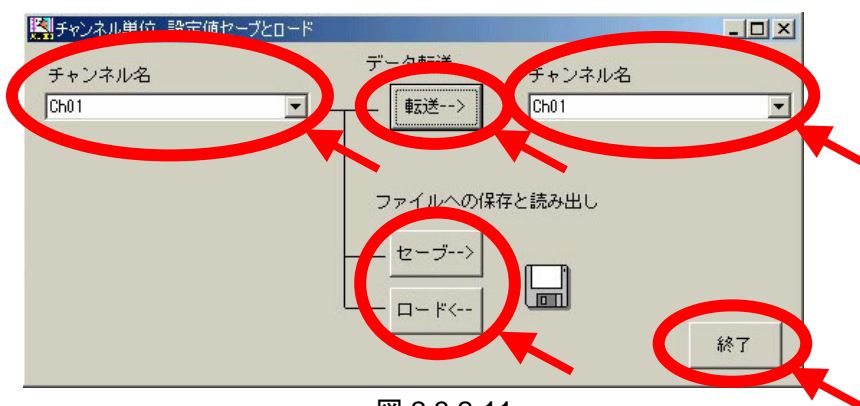


図 2.3.2-11

操作説明

チャンネル名選択項目: セーブまたはロードするチャンネル名を選択してください。

データ転送の場合、転送先のチャンネル名も選択してください。

[転送-->]ボタン : このボタンをクリックすると、転送元チャンネルの設定値を転送先チャンネルに転送します。

[セーブ-->]ボタン : このボタンをクリックすると、「名前を付けて保存」ダイアログボックスが開きます。

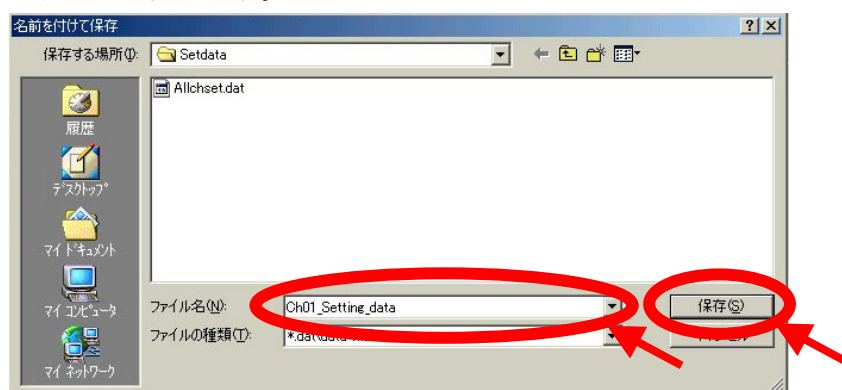


図2.3.2-12

ファイル名を入力し、[保存(S)]ボタンをクリックしてください。選択したチャンネルの設定値をインストール先の Setdata フォルダ内ファイルに保存します。

[<--ロード]ボタン : このボタンをクリックすると, "指定されたチャンネルにデータが上書きされます。よろしいですか?"という確認画面を表示します。

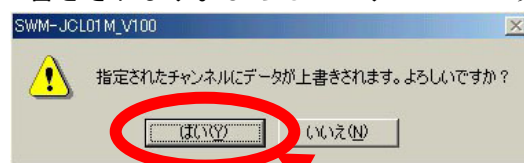


図 2.3.2-13

[はい(Y)]ボタンをクリックすると, 「ファイルを開く」 ダイアログボックスが開きます。(図2.3.2-14)

[いいえ(N)]ボタンをクリックすると, ロードを取り消し確認画面を閉じます。

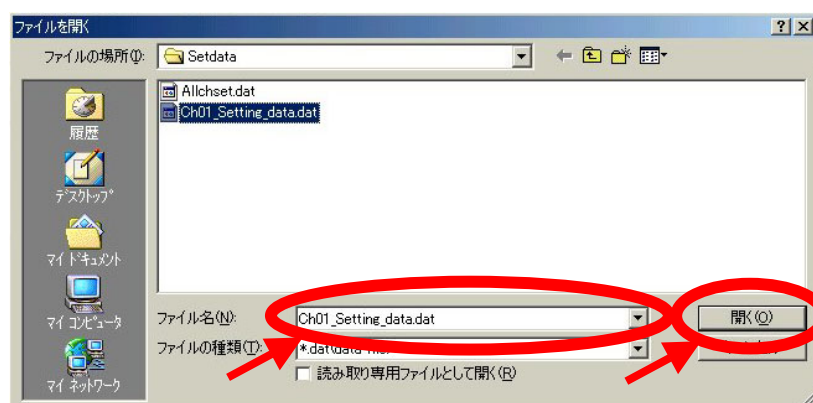


図2.3.2-14

ファイルを選択し, [開く(O)]ボタンをクリックしてください。
ファイルからデータを読み込み, 選択したチャンネルの設定値を更新します。

[終了]ボタン : このボタンをクリックすると, チャンネル単位 設定値セーブとロード画面を閉じます。

(7) 全チャンネル一括 設定値のセーブとロード

画面上の全チャンネルの設定値をファイルにセーブ(保存)またはファイルからロード(読み込み)を行います。

- ① メニューバーの[ユーザー(U)]-[設定値のセーブ/ロード(G)]-[全チャンネル一括(A)]を選択し、クリックしてください。

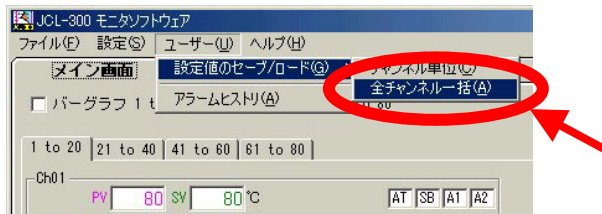


図2.3.2-15

- ② 全チャンネル一括 設定値セーブとロード画面を表示します。

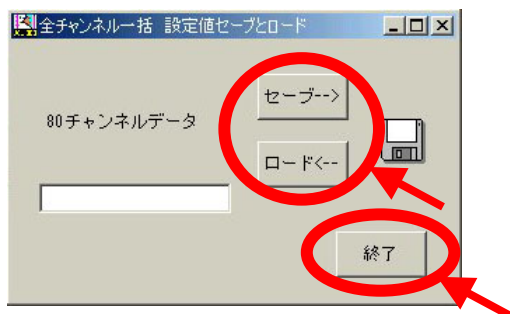


図 2.3.2-16

操作説明

[セーブ-->]ボタン : このボタンをクリックすると、「名前を付けて保存」ダイアログボックスが開きます。

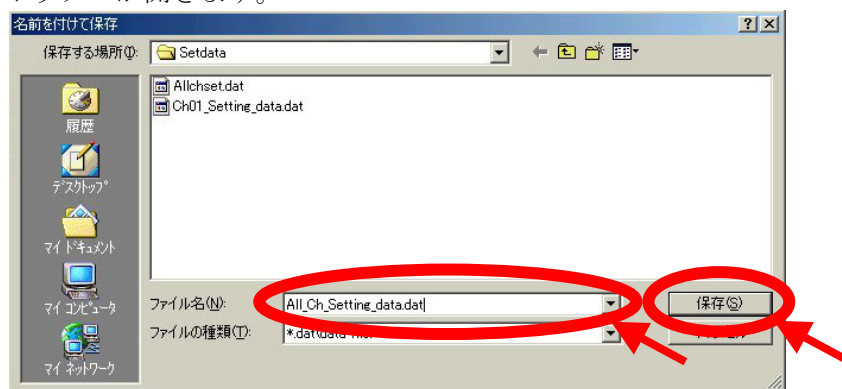


図2.3.2-17

ファイル名を入力し、[保存(S)]ボタンをクリックしてください。
全チャンネルの設定値をインストール先の Setdataフォルダ内ファイルに保存します。

[<--ロード]ボタン : このボタンをクリックすると, "全チャンネルのデータが上書きされます。よろしいですか?"という確認画面を表示します。

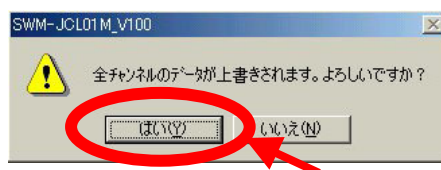


図 2.3.2-18

[はい(Y)]ボタンをクリックすると, 「ファイルを開く」 ダイアログボックスが開きます。(図2.3.2-19)

[いいえ(N)]ボタンをクリックすると, ロードを取り消し確認画面を閉じます。

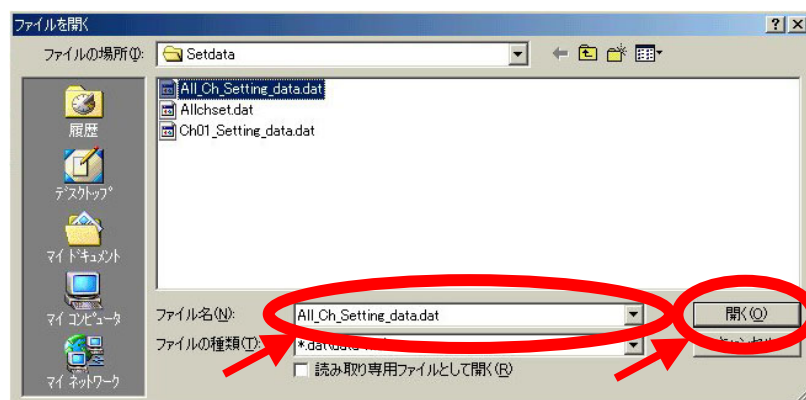


図2.3.2-19

ファイルを選択し, [開く(O)]ボタンをクリックしてください。ファイルからデータを読み込み, 全チャンネルの設定値を更新します。

[終了]ボタン : このボタンをクリックすると, 全チャンネル一括 設定値セーブとロード画面を閉じます。

(8) アラーム履歴画面

モニタ中の警報1, 警報2, センサ断線警報, オーバスケール, アンダスケールが発生した時および正常に戻った時のチャンネル名と時間を表示します。

インストール先の History フォルダ内に txt 拡張子でファイルに保存も行います。

ファイル名は, モニタソフトを起動した日時(His_西暦_月_日_時_分.txt)を自動的に設定します。

- ① メニューバーの[ユーザー(U)]-[アラーム履歴(A)]を選択し, クリックしてください。



図2.3.2-20

- ② アラーム履歴画面を表示します。

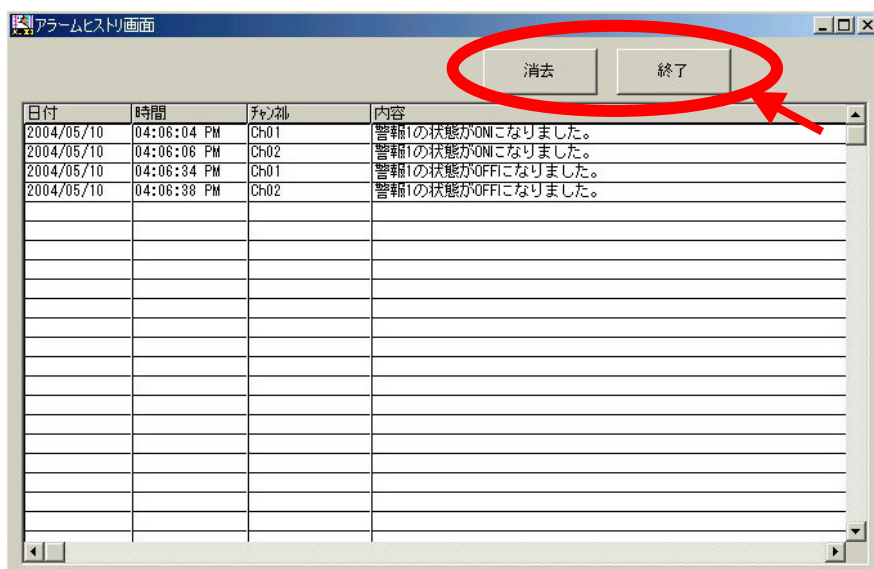


図 2.3.2-21

操作説明

[消去]ボタン : このボタンをクリックすると, 画面上の履歴データを消去します。

[終了]ボタン : このボタンをクリックすると, アラーム履歴画面を閉じます。

(9) ヘルプ画面

モニタソフトの各画面や操作の説明を表示します。

- ① メニューバーの[ヘルプ(H)]-[ヘルプ(M)]を選択し, クリックしてください。

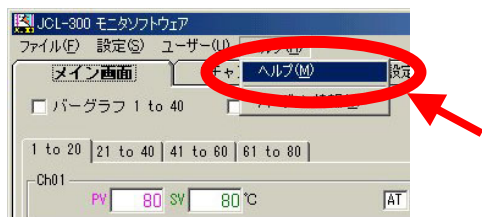


図2.3.2-22

- ② ヘルプ画面を表示します。

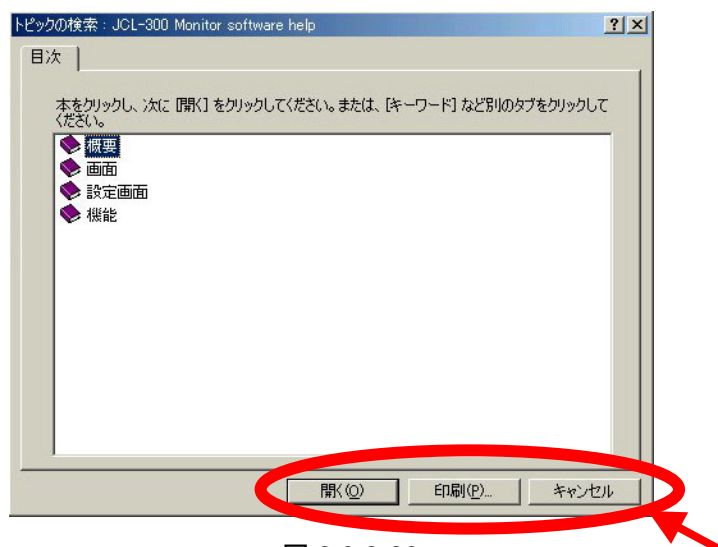


図 2.3.2-23

操作説明

- [開く(O)]ボタン : このボタンをクリックすると、選択したヘルプ内容を表示します。
閉じている本のアイコンを選択した場合、本を開きます。
開いている本を選択した場合、本を閉じます。
- [印刷(P)...]ボタン : このボタンをクリックすると、選択したヘルプ内容を印刷します。
本のアイコンを選択すると、その本に含まれる全てのヘルプ内容を印刷します。
- [キャンセル]ボタン : このボタンをクリックすると、ヘルプ画面を閉じます。

(10) バージョン情報画面

モニタソフトのバージョン情報を表示します。

- ① メニューバーの[ヘルプ(H)]-[バージョン情報(V)]を選択し、クリックしてください。

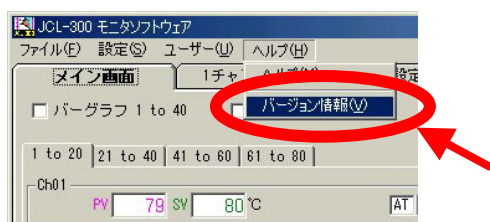


図2.3.2-24

- ② バージョン情報画面を表示します。

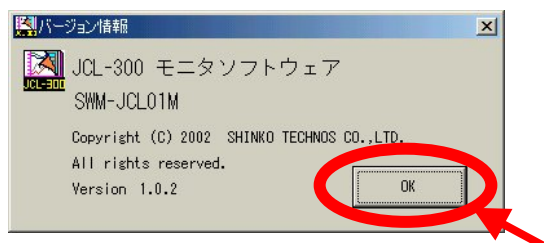


図 2.3.2-25

操作説明

- [OK]ボタン : このボタンをクリックすると、バージョン情報画面を閉じます。

・・・お問い合わせは・・・

モニタソフトについて不明な点がございましたら、お買い上げいただきました販売店、弊社営業所または出張所まで問い合わせください。

なお、動作上の不具合については、その内容とご使用状態の詳細を具体的にお知らせください。

Shinko 神港テクノス株式会社

本 社	〒562-0035 大阪府箕面市船場東2丁目5番1号 TEL: (072) 727-4571 FAX: (072) 727-2993 URL: http://www.shinko-technos.co.jp	神奈川出張所TEL: (045) 361-8270 / FAX: (045) 361-8271 静 岡出張所TEL: (054) 282-4088 / FAX: (054) 282-4088
大阪営業所	〒562-0035 大阪府箕面市船場東2丁目5番1号 TEL: (072) 727-3991 FAX: (072) 727-2991 E-mail: sales@shinko-technos.co.jp	広 島出張所TEL: (082) 231-7060 / FAX: (082) 234-4334 徳 島出張所TEL: (0883) 24-3570 / FAX: (0883) 24-3217
東京営業所	〒332-0006 埼玉県川口市末広1丁目13番17号 TEL: (048) 223-7121 FAX: (048) 223-7120	福 岡出張所TEL: (0942) 77-0403 / FAX: (0942) 77-3446
名古屋営業所	〒460-0013 名古屋市中区上前津1丁目7番2号 TEL: (052) 331-1106 FAX: (052) 331-1109	